京城日報

朝刊と合せて十二頁

定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢 [illegible] ▲郵券代用は二割增
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢▲記事欄內一行金一圓[illegible]▲特別指定所[illegible]▲三號活字は五號活字の[illegible]▲六號活字は五號活字の[illegible]
發行兼編輯人 奧田貞次郎
印刷人 [illegible]口政太郎
京城太平通一丁目
發行所 合資會社 京城日報社
電話（編輯局 [illegible]）

列強大戰

▲一大成功
露南軍の一將

巴里來電＝佛國軍事通信員の所報に曰く露國南軍イワノフ、ブラジロフ二將軍はヴオリニヤに於て一大成功をなせり即ち露軍はストリイクワ兩間なる墺軍の戰線を突破し數千人を捕虜とせりと墺軍は又ルツク附近のシムベルク街道にても失敗し露軍は再度ルツクを占領し敵は急遽退却したるが優勢なる露軍の爲め西方に追擊せられたり（倫敦電報）

▲希臘動員

雅典來電に依れば希臘皇帝は全國動員の命令を裁可せり（倫敦電報）

○總統回答
建議に對し

袁大總統は立法院の建議に對し左の意味の回答を與へたり
●憲法の決定は國民會議の職權と意嚮と國家の根本體形に關せば慎重たるを要す國民會議の開宜は十一月二十日擧行すべく既に公布あり開宜の完了後に於て正式に召集し正確なる民意を徵す可し（東京特電）

○大藏證券發行

政府は二十七日期限に當れる一般會計所屬の大藏證券一千萬圓を割引日歩一厘下げの九厘本年十二月二十日償還の條件にて借換へ發行し且つ同時に同種の大藏證券五百萬圓を割引日歩二厘來る十一月五日償還の條件にて增發する旨發表せり（東京特電）

○英糖小賣騰貴

二十四日倫敦發來電に依れば英國の砂糖小賣値段は砂糖新課稅實施の結果粗糖百ヴエートに就き五シルリング高を見今日迄の政府公定價額一ポンド四ペンス半は五ペンスに引揚げられたり（大阪特電）

○閑院宮兩殿下

閑院宮同妃兩殿下御乘艦常盤警備艦日進を先頭に二十六日午前八時半關門海峽通過、港務部及び水上警察署汽艇奉迎送を爲せり（門司特電）

○愛國婦人會一行

愛國婦人會副會長男爵夫人濱尾さく子理事棚橋絢子伊集院子爵夫人は子事務員黑田剛氏同文堂藤藏氏外侍女二名二十六日午前九時二十分弘濟丸にて著釜同十時三十分發京城へ向へり（釜山特電）

○白仁長官

白仁關東都督府民政長官は廿六日午前奉天驛通過京城に向へり（奉天特電）

○本田平壤府尹

本田平壤府尹病氣快癒したるを以て二十六日午前釜山通過歸任せり（釜山特電）

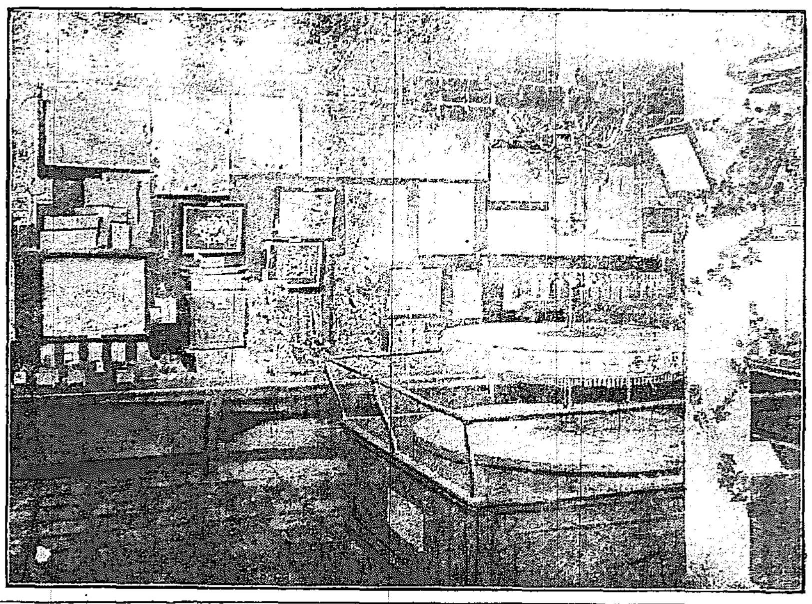
朝鮮大共進會

●宮殿下御日取變更
廿八日午後御入京

閑院宮同妃兩殿下御來鮮に就ては其後御日取に變更あり即ち廿八日午前仁川港御著の上直に水族館に御成同日午後御入京の事となれり

●宮殿下と仁川

閑院宮同妃兩殿下には二十四日午後神戶より御召艦常盤に御乘艦相成りてより海上波穩かに順路御通過相成る趣き各地よりの無線電信にて報導せらるゝ處なるが愈々來る二十八日正午頃兩殿下御搭乘の軍艦常盤は日進春日の兩艦を随へ仁川港頭に其の雄姿を現はす事となりたり而して兩殿下には同日午後二時御上陸の豫定にて是より先き寺內總督はランチにて奉迎に出で御先導申上げ稅關棧橋上の同構內より海岸通り二丁目及び水族館正門に至る沿道には京城より奉迎の李王殿下名代及び朝鮮公族京城各官衙長官を始めとし仁川府各官公署一同各學校生徒各團體一般奉迎者整列し陸海軍の各儀仗兵前後に從ひ稅關棧橋より仁川海岸通り二丁目を御通過水族館に向はせられ水族館三階貴賓室に御休憩遊ばさるゝ可し同日宮殿下に茶菓捧呈の名譽を擔ふせる者は村谷津江田中の三令孃にて何れも仁川高等女學校の出身なり兩殿下には三階貴賓室にて書類閱覽あらせられ赤十字社仁川委員部よりは銀製[illegible]篤志看護婦仁川支部よりは豹皮及び花束の獻上ある事にて夫れより二階廣間に於て官民の引見あらせられて後各魚槽を御觀覽の上午後三時特別列車にて京城へ向はせらるゝ事となりをれば當日の仁川は一大盛觀を呈するに至る可し、因みに十月三日更に仁川へ御臺臨ある豫定ありたるも變更になり御台臨無き由承はる



咸鏡南道々勢一斑＝共進會審勢館

●鑛業大會（第二日）

鑛業家懇話會は二十六日午前九時より京城ホテルに開會村田發起人總代の司會にて吉川、細井、服部博士、和田維四郎諸氏の鑛業上に關する有益なる講演あり聽衆三百餘名講演は午前を以て終り午後は各自由行動を取り午後六時よりは朝鮮ホテルに於て開會の園遊會に出席すべし

●賣約開始
證據金は二割

共進會は二十七日より陳列品の賣約を開始すること既報の通りにして之れに關する規定は同日の官報を以て發布即日より施行の筈なり其規定中購買希望者の特に注意す可き事項を擧げむに出品賣約所は會場內▲第一號館（第一部、第三部、第四部、第五部、第六部）▲第二號館（第八部、第十二部）▲農業分館▲畜產館▲營林廠特設館▲水產分館▲印刷寫眞館▲參考館▲美術館▲參考館美術館▲機械館の各所に設置され館外出品に付ては其部の屬する賣約所に於て賣約を取扱ふ可く又賣約主任は常該部若くは館の主任事務員を之れに充つることゝなれり而して出品の賣約を爲さんとする者は賣約申込書に出品道名、類別、番號、品名、數量及び賣價を記入して賣約主任に差し出す可し但し同一品に對し同時に二人以上の賣約申込あるときは抽籤を以て其申込者を定む尙ほ賣約の約定條件左の如し

一、賣約品の引渡は大正四年十一月三日より十一月七日に至る閉會日午前九時より午後三時迄とす
二、賣約品の容器及び其裝飾に用ひたる物品は特に明示あるもの、外は賣約中に含まざるものとす
三、賣約の後解約の申込あるも既納の代金又は證據金は之を返還せず
四、盜難其の他の避く可からざる災害に依り賣約品を亡失又は毀損したるときは解約することある可し
五、[illegible]賣約品を毀損若は減失し又は其裝置に不足を生じたる場合には買受人の希望に依り解約することある可し
六、同一物品に就き誤つて重複の賣約をなしたるときは賣約證明番號の後なる分を解約す
七、賣約の後約定に詐欺強迫又は錯誤の事實あることを發見したるときは解約することある可し
八、第四乃至第七項に依り買受人に損害を生ずることあるも共進會は其責に任せず、但し既に拂込みたる代金又は證據金は之を返還するものとす
九、賣約の有効期間は大正四年十一月十日限りとす
十、前號の期間を經過するも尙ほ現品引渡の請求なきときは其の賣約を無効とし既納の代金又は證據金は之を返還せず

而して賣約主任は賣約申込書と出品臺帳とを照合し賣約金高一圓未滿なるときは其全額、賣約金高一圓以上なるときは證據金として其金高の二割以上（但し賣約申込者の希望あるときは全額）を收納し賣渡約定證を賣約申込人に交付す、但し機械館出品に對する賣約證據金の額は此規定に依らず其時に之れを定むと

●無線電話公開

遞信局にては今回構內に無線電話を特設し既設の無線電信と共に毎週月、水、金の三日間午後一時半より三時半迄一回二十人を限り一般に觀覽せしむる由にて其觀覽者に對しては豫め京城協贊會にて發行したる證票を交付すべしと

●記者團員出發

全國記者大會出席記者團員四十餘名は湖南線方面視察の爲め二十六日朝八時半列車にて南行し二十餘名は同九時五十分滿洲方面に向け出發せり停車場には趙重應子を始め官民有志多數の見送りあり尙ほ他の團員は一兩日京城に留まり各方面の調査をなすべしと

●記者團と朝郵記念品

朝鮮郵船會社長原田金之祐氏は全國記者團百五十名に對し記念の爲め眞鍮製煙草器一個同社航路圖一部宛を贈りたり

●京城協贊會理事會

京城協贊會にては廿五日午後二時より理事會を開き飛行機の飛揚其他二三の件に就き打合す所ありたり

觀覽團消息

▲水原郡一千百十五名　二十六日入京
▲羅州郡團體二十三名　同日退京
▲公州普通學校生徒廿四名　同日天安へ
▲茶屋町普通學校生徒四十五名　同日仁川へ
▲通川郡二十七名　廿六日退京
▲記者團十五名　同日安東縣へ
▲載寧郡百十二名　同日退京
▲昌原郡百九十三名　同日馬山より入京
▲報恩郡杜法寺僧侶二十名　同日入京

人事消息

▲淺野長七氏（三井物產會社員）　二十六日入京
▲水野直氏（子爵）　廿五日內地へ
▲熊谷喜一郎氏（前石川縣知事）　同上
▲池田他人氏（海軍少佐）　同上
▲長崎省吾氏（宮中顧問官）　二十五日午後入京
▲加藤定吉氏（代議士）　同上
▲小澤武雄氏（赤十字社副會長）　同上
▲黑須龍太郎氏（代議士）　同上
▲白井少將（總督府武官）　廿六日午前仁川へ

南言北語

胃病を起しても構はぬ食へる丈けは食はんとした物ずき利もさうと長い奴を引つこぬいた▲獨墺に加擔して戰後に食つた丈け吐き出さねば可いが▲其れとも高井順度をきめ込むかも知れない▲何と云つても食い切られた土耳古は一番馬鹿なしい▲獨軍はウイルナを取つた事は取つたが二十五萬人の損害だと云ふ▲如何に獨逸が兵隊に困らぬと云つても之では腹が痛からう其れとも獨逸では人間が蚯蚓の樣に發生するかも知れない▲處が兵役年限を五十四歳迄延期したと云ふ今迄は四十五歳迄であつた▲五十の坂を越えた兵隊さんがくの字腰で突擊しても大した事は出來まい▲獨軍の強いのは今頃だらう▲支那では帝政論が本物になり相になつて目出度なゝの若松樣も最う近いが▲甘粛省から陝西省にかけては扶清滅洋の大師が隷つて居る▲例の哥老會の匪徒だ第二の義和團にならねばよいが▲實際乾き切つて居るから島渡した飛火でも大した事にならぬとも云へぬ危ない〳〵▲共進會の盛况は豫想以上だ大會に出席した記者團連中等も之れ程迄に整頓して居るとは思はなかつたと驚いて居た▲誰れでも驚くに違ひない朝鮮の殖產工業が彼れ丈け發達して居る處を見てはね▲只其の發達の結果丈けを見ずに之れ迄に發達させた半島の官民の苦心もチト思ふて貰ひたいものだ▲記者が一日某有力な外人に遇つた時其の外人の曰く▲實は日本人に殖民地經營が出來るか否かは一部外人間でも疑問であつたが今此の共進會を見て其の實際に驚いた▲更により大なる殖民地でも日本人は容易に統治し得る腕前を持つて居ると▲云ふにや及ぶ日本人として何事もなし得ない事はないよ

■共進會入場者
二十五日（土曜日、少雨）

▲晝間　一萬二千三百六十六人
- 內地人　一千七百四十三人
- 朝鮮人　八千八百四十五人
- 支那人　五十四人
- 外國人　七十八人
- 無料者　一千六百四十六人

▲夜間　四千六百七十二人
- 內地人　一千三百四十三人
- 朝鮮人　二千六百八十人
- 支那人　十八人
- 外國人　二十人
- 無料者　六百十一人

▲晝夜計　一萬七千三十八人
▲團體　五千百二十六人
▲合計　二萬二千五百六十四人

△開場以來累計
▲晝間　十七萬九百六十人
▲夜間　八萬三千二百二人
▲總計　二十五萬四千百六十二人

登録商標

龍犬印 メリヤス

本品の特色
品質精撰
價格低廉
持久確實

—品目—
綿メリヤス
シヤツ
毛メリヤス
シヤツ
綿及毛手袋
綿及毛靴下
覆面及び綿毛ジヤケツ

秋冷の季に相向ひ候
倍舊一段の御愛用伏而奉願上候
相場表御入用の御方は御下命次第早速御送附可申上候

大阪市東區横堀五丁目
㊣宇野正雄商店
製造輸出部
電話東二二七六番
電信略號ウノ又ハ(ウ)

時間表 [illegible]

大共進會

日曜は湧き返る賑ひ

危かつた空は綺麗に晴れた、朝八時半頃まではけふの日曜も雨だと全く信ぜられてゐたのに九時頃からは南から次第に頭を擡げて正午時分からは柔かい日光が射し、雨の用心に持ち出した傘を日除けに翳す樣な好天氣、廿四日の祭日を降られて出かねた連中はけふこそと十時頃から共進會に詰め掛けて來る、日曜日は何時も變らず內地人の觀客が目立つて多い、平常は七分が鮮人で、三分が內地人の割合の標を、日曜となると內鮮人五五分、華やかな帶とパラソルの美しい色がパナマや中折と打ち並んで場內一面に白衣の鮮人の間に縞模樣を作る晴々しさ、學生の團體は流石に少ないが、それでも遠來の客としては內地からわざ／＼入京したる福岡農學校生徒が竹下教諭等に引率されて五十四名入場したのを始めとして京畿道楊州の普通學校の生徒五十八名同じく坡州の普通學校生徒四十九名がある、市內の男女學生のけふは思ひ／＼に父兄や母姉を案內して來觀せる人々の賑ひ、又鮮人團體としては正午までに平北の朔川、昌城、龍川諸郡の百八十九名江原道蔚珍、橫城、洪川の諸郡の百六十五名、全北沃溝郡の百六十名、忠北沃川郡の二百三十二名、慶南泗川郡の九十七名、忠北新川、牙山、唐津諸郡の三百三十四名、京畿道廣川、富川兩郡の五百二十一名、黃海道瑞興郡の八十一名等何れも色とり／＼の團體旗を先頭に繰り込むその中にも一際好奇の眼を惹いたのは慶南里川郡通度寺の本寺及び末寺の住持僧侶五十九名、その中には尼僧も十二名混つた一團體の入場であつた、黑、紫、紺等の僧衣豐かに著なせる胸に[illegible]まばゆき一連が長袖の下から手帳、鉛筆を出して眼に止つたものを一々記して行く樣は質に廿六日午前の共進會場の一奇觀であつた、夜は九時から要會樓畔で三河特有の水中仕掛花火があるといへば之れ亦夜の會場に一大光彩を加へさぞかし多數の見物を呼ぶとであらう

妓生 ——坪谷水哉氏撮影——

三萬六千燭光

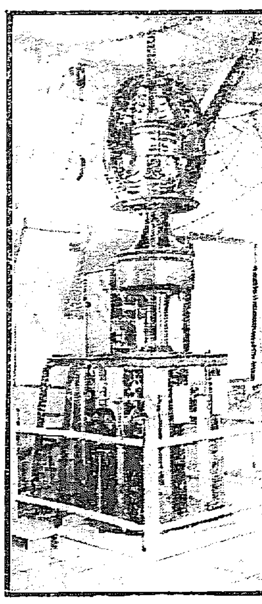
精巧な燈臺 裝置の陳列

二號館の交通部で電話交換臺に相對して來日を擡してゐるのは三萬六千燭光の天井に達するばかりの大燈臺である、之れは遞信局內工務課技手の管轄教授に用ひてゐた實物をそのまゝ出品陳列したものでその光は

□二十海哩 の遠きに達するものだ、點火は仕掛いが機械は絶えず動かしてその內部の組織を見せてゐる、二つの筒の一つは自轉車や自動車に空氣を入れるポンプと同じ樣なポンプで一杯に五十ポンドの容積の空氣を詰める、と一方の筒の石油がその空氣の壓迫で細管を經て瓦斯のマントル樣の燭燈下に運ばれそこで點火される、又一方には長い鎖の先きに錘が付してあつてその錘が一度絶頂を廻いて置くと四十分間徐々に其重みで下つて來る、その下つて來る間機械が廻轉する組織に爲つてゐる、かくして點火された光は其周圍を圍んで段々に菱形を爲してゐる硝子に

□反射して 光力を增す仕掛であるが、朝鮮沿岸の燈臺は多くそれを使用してゐる此燈臺の內臓を覗いた裏には二枚の五十號大の大油繪が掛けられて一つは燈臺の無い爲怒濤逆卷く大海中に難船してゐる船と一つは明晃たる燈臺からの光輝を標識として針路を進む安全なる航海を見せ、その下には朝鮮沿岸航路標識事業の完成せる爲め安全に航海するに至つた船舶數の統計が舉げられてゐる、その大正三年度の船舶數は三萬三千艘也、而して現に朝鮮沿岸に於ける航路標識數八十一箇所、その中看守を有するもの四十四箇所別に看守を有せぬ交通不便の地に於ける燈臺に用ゆる燭臺も出品されてゐる

□大燈臺下 の陳列臺上に置かれたその燈器を見ると二百燭光の閃光がピカリ絶えず／＼明滅してゐる之れは自然熱を利用して晝間は熱の爲に金屬が熱して膨脹し、夜間及び曇天の日は冷却して縮少するその作用で器內の瓦斯を調節して夜間或は曇天の日は石油に點火し、晝間は點火せぬ組織に爲つてゐるものである又それと隣しては殆んど只のランプと選はぬ昔の燈器が色々陳べられてあつて新舊を比較して見せるやうにしてある。



休憩所巡り

(六)瀟洒な茶室から

黃海道の休憩所と道一つ隔てゝ慶南道の休憩所がある、白木造りのハイカラな茶室か、離れ座敷と云ひたい建方で、丸窓から植木鉢が見える風情、外側に廻り縁を付け誰でも通りがゝりに腰掛けらるゝこしらへ方、窓を珍しく本式に硝子障子をはめたるなど氣持のいゝ造り方である、室內には風趣ある數寄を額にして、あくどい裝飾の無いのが嬉しい、いさゝか休む可く疲れた氣味の吾輩はこゝとは通り拔けで御免を蒙つてこゝとは兄弟分のそして仲にお隣同志の慶北の休憩所へと向ふ、こゝも一寸拜見した丈で失敬しやうと思ふと、接待役の一老人いろ／＼と挨拶があつて鄭寧に席を勸めらるゝに恐縮して煙草に火を點けると、鮮美人茶と菓子を運び甚だ歡待さるゝに、暖黑い吾輩、通りがゝりの客で喉の渴いてゐない吾輩は、休む可く少しも疲れてもゐない、吾輩は、恐縮しく爲つてゐることは云へ、そゞろに冷汗を御覺え遊さゞるを得なかつた、こゝはその點に於ては蓋し各道休憩所中第一であらう、白布を敷いた長卓數臺を置いて、ベンチと椅子をその間に配し白木造りながらゆつたりさせられてゐる、四端には昔に聞ゆる濟州地方の[illegible]代や水瓶や亦黑磁改良成績[illegible]

飛機墜落

岩富中尉の危篤

所澤飛行所にて二十五日午前十時五十八分第三期飛行將校岩富中尉はファルマン式に搭乘し離陸五十米突の高度にて北東に飛行中前方に繫留氣球の昇騰せるを避けんと步路を左方に切りたる刹那突如機體は眞逆樣に墜落し中尉は頭部に梅干大の突傷を負ひたる外十數箇所の打撲傷を負ひ人事不省に陷り東京衛戍病院に入り治療を受けつゝあり因原不明なるも突風に會したるに因るならんと(東京特電)

最も進步せる裝置

木下博士仁川水族館を激賞す

大阪每日新聞巡回講師と共に朝鮮各地を巡講しつゝある醫學博士木下東作氏は二十四日仁川來著の上水族館を巡視したるが非常なる賞讃を與へられたり同博士は大阪醫學專門學校教授にして博物學の造詣深く殊に水族館の魚族を擔當されをれるが仁川水族館は海水濾過及び精選されたる

海水を電氣仕掛にて水槽塔に引き上げ水壓を生ずる仕掛に於ては最も輕便に出來居り理想的なりと賞讃したり、同博士は曾て歐洲及び濠洲の水族館視察をも遂げたるが仁川水族館の海水濾過及び水壓を生ずる仕掛は日本內地及び濠洲歐洲の何れよりも善良なるものにて唯獨逸に此種のものあるのみなりと養魚上海水の比重は大關係を及ぼすものにて比重二十度內外のもの最も適當なるが曩に本年六月以降總督府より水產組合仁川支部長鎌田氏に海洋觀測を命ぜられ五六浬沖の海水も海岸近き海水も比重に於て差なき事を知り得たる結果協贊會にては水族館設立の際五六浬沖合の

海水を引き入るゝ手數を省き濾過法を採用し今回木下博士より意外の賞讃を博したるものなりと尚同博士は濾過海水には浮游生物を入れて各魚族に食餌とするを可とすと注意を與へられたれば水族館擔當主任鎌田氏は浮游生物採取の上各魚槽內に入るゝ事となりたり尚木下博士は斯る理想的の水族館は永久に保存して魚族游泳の狀態及び食餌の適否、習性等を研究するに最も好都合なるに直ちに閉鎖するは最も遺憾なりと語れり

仁川沖で鯨を生捕る

早速水族館に飼育して大評判

廿三日仁川の漁夫數名は仁川を去る七十浬の地點、調賈島沖にて鯛網を垂れ漁業中圖らずも一丈餘の大鯨網にかゝりたればこはよき獲物よと全員力を合せて遂に生捕にし廿五日仁川港に曳き歸りたるが恰もよし水族館開館中のことゝて直ちに同館內に出品一般の觀覽に供することに議決し、同構內の貯水池に運び入れたるが、三尺餘の高さに潮水を吐く巨鯨の奇觀に掛員一同大喜びにて早速廿六日より一般に觀覽せしむることゝせり、この不時の大獲物は仁川水族館の呼び物として大評判となるは云ふまでもなく洵に水族館の幸先を祝するものとも云ふ可し

自稱理學士は

其の實自轉車泥棒

去る七日京城黃金町一丁目下宿屋山陽館に夫婦氣取りにて投宿したる若き男女あり男は京都府紀伊郡下鳥羽村生れの僧侶伊藤邦彥(二七)女は同人の情婦にて營口にて酌婦を勤めゐたる田代ふじ子なりしが兩人の擧動不審なるより本町署の刑事取調べの結果伊藤は豫備陸軍步兵少尉理學士京城中學校教員なりと柄にもなき名前を詐稱して同月十三日迄投宿し尚九月七日には長谷川町某洋服店に至り『理學士伊藤邦彥』なる名刺を示して自分は京城中學校の教員なりとて判任官の制服及び帽子其他附屬品價格四十圓のものを注文したるも詐取の目的を達するに至らざりし而して同人は入京前鎭南浦道永興郡洪仁面の奧山某より自轉車一臺を騙取し元山にて賣却し永興邑內にては宿料を踏倒したる儘京城に逃走し來れるものなりと

元山視察團

元山每日新聞社主催共進會視察團は廿六日午後零時廿五分仁川より入京小學校、高等女學校生徒、內鮮人を合せて五百四十四名の大團隊にて昌德宮、家庭博覽會を見物せり猶ほ第二回視察團二百餘名は內地人のみに限り來る卅日入京すべしと

奈良丸の出演

浪界の泰斗吉田奈良丸は當地大正館主新田耕市氏の手にて興行することゝなり本月卅日當地乘込み翌一日より有樂館を借入れ開場する筈なるが興行日數は僅かに五日間の豫定にてそれより滿洲方面へ直行す可しと

日本帆船漂流

英領バンクバー來電によれば船長中牟田氏は二名の船員と同行の上スプリンス、ルバートに達したるが他の四名の日本人を同地附近の島に殘留せり一行の言ふ所に依れば三箇月前帆船にて日本沿岸より暴風の爲め吹き流され餘儀なく太平洋を橫斷し其の間雨水と僅少の糧食とにて飢を凌ぎたるも七月の末船は岩礁に衝突して破船したる爲め幸くも島に游ぎ著き樹木魚類を捕へて糊口し來れりと(紐育特電)

家庭博覽會

釜山女學校生徒の來觀

二十六日はお彼岸であり、日曜日とあつて共進會にも家庭博にも第一の書入れ日である、朝の内サット一雨來たがそれも間もなく降り歇んで立派な家庭博日和となつた、愉快な秋の日曜日の行樂を一家族打連れて家庭博覽會へ共進會へと出てくる人は家庭博會場前の太平通りを蟻の道ふが如くに群がつてゐる、その群集は(?)に吸ひ寄せられる樣に場內に溢れ込んで少からぬ混雜を呈し忠南燕岐郡の四十六人、同唐津郡の六十一人、平南成川郡の十八人、京畿道黃州郡の六十八人の團體が後へ後へと押寄せ盛況を添へたがそのうちにも殊更目立つて美しかつた一群れは目下入京中の釜山公立高等女學校生徒の花の少女達百一名であつた、一行は置同校敎諭外數名に引率され京城高等女學校の佐々木敎頭佐藤敎諭等の東道で館內隈なく巡覽した、いろ／＼の理想を若い胸に秘めてゐる小女達に多くの共鳴を感ずる家庭博の各館が多くの興味を齎してかれ等の眼に映じた事は言ふまでもない事だが之れが平素は新聞社であると聞いて驚異の眼を瞠つたものも少なくなかつた、館內巡覽が終ると運動場で記念撮影をして記念繪葉書を買つたり賣店を見たりして歸つた

水原と協贊會

水原協贊會の狀況を聞くに同地は流石に勸業模範場の所在地丈ありて去る十三日以[illegible]會迄には僅に七千人以上に上るべく協贊會歡迎委員は日々歡送迎は勿論湯茶食及び旅館の配當準備に大多忙を極めつゝあり[illegible]一等八十錢二等六十錢鮮人側二十錢にして京城に比し半額以下に當る由同地協贊會が如何に觀光客の便宜を[illegible]する筈なりさすれば來る天長節迄に開通式施行の豫定なり

[illegible] 九月二十八日九星

二黑● 有日 新事手控事は吉女難散財を防がるべし▲沙汰やみになる事有日 新事手控事慶事
三碧● 話妨なし▲素氣なき事有日 新事手控事
七赤● 花の如き日 親居旅行入門求職婚姻名弘金談婚禮遊技場を開く皆萬吉

連絡船上陸客 廿五日午前

田耕藏、友田一郎、島田光子、弘毅太郎、長岡篤策、山口かつ、齋藤栗勢、坂田爲市、寺田雄賢、晴太郎、大竹謙太郎、同惡一、小原達次、岡南治、若山隆三、阿部雄、佐野千代、下河部榮、作田右手、同まつ、伸勝福松、南源五郎、同あさゑ、同みちゑ、同路雄、畑中季雄(三等二百四十四名)

天氣 曇但し午後晴れ
九月廿七日 (廿六日午後六時より廿七日午後六時迄)
晝間 [illegible] 夜間十一時 [illegible]

活動大寫眞 ▼廿七日より新寫眞 本町 新派悲劇 夜の光 泰西活劇 狙撃 ▼見逃す勿大寫眞を 毛谷村六助 有樂館

醇良清酒 仁川本町四丁目 吉金酒店 電話七六四番

純粋國産 宮內省 陸海軍 帝國大學 醫科大學 總督府醫院 諸官衙病院 御用 大黑天印甲斐產葡萄酒 釀造元 山梨縣 宮崎商店 朝鮮發賣元 京城西小門通 弘昌商會 電話二七九七番

新製品 辛味豐富『アク』拔き故に即座使用に便なり 腐敗の虞なく醤油に『カビ』が止め、また藥用として効あり 粉からし 全國到所の乾物荒物店にあり 大阪市天滿市之側 黑川與兵衛 電話東一六四二番 振替大阪六〇四〇一六番

優等清酒 一鶴 京城本町二丁目 電話六五四番 本莊酒店

模範牛乳 純粋培養ヨーグルト 場主獸醫肥塚正太 京城蓬萊町四 東亞牧場 (電話五二二番)

限定承認及請求申出ノ公告 拙者儀被相續人京畿道仁川府山手町三丁目平民力武平八ノ相續人トシテ大正三年九月二十三日京城地方法院仁川支廳ニ於テ其限定承認ヲ爲シタリ依テ右被相續人ノ相續債權者及受遺者ハ此公告ノ日ヨリ六十五日ノ期間內ニ其請求ノ申出ヲ爲スヘク若シ右期間內ニ申出ナキトキハ其債權ハ辨濟ヨリ除斥セラルヘシ 右民法ノ規定ニ依リ公告候也 仁川府內里二百八番地一ノ第一號 限定承認者 力武義一 右未成年ニ付法定代理人 母 力武ヤス

小兒良藥 樋屋奇應丸 專治 小孩失神癲癇及發生熱蟲等に奇効神の如し 到る處の藥店に有り 樋屋合資會社 大阪天滿橋

クロパトキン將軍原著 日本大井包高譯 滿蒙處分論 定價金一圓 郵稅本社負擔 京城日報代理部 振替貯金京城三〇〇番

柏村博士の ヘルプ 惡疫豫防と ▲腸胃の健全なる人が惡疫に傳染せざるは學理の證する所なり故に此際何人も腸胃の健全を主とするヘルプを服用せよ 定價 十錢 廿錢 卅錢 五十錢

主治効能 ▲暑氣あたり ▲水傷 ▲食傷 ▲頭痛 ▲吐瀉 ▲腹痛 本舖 東京市本鄕區 津村敬天堂

判事シモ儀豫て病氣の處廿六日午前六時死去候間生前の知諸彥に御通知申上候追而葬送の儀は二十八日午後二時自宅出棺大和町淨土宗開教院に於て相營申候 大正四年九月二十六日 夫 後藤相吉 弟 後藤喜太郎 親族一同 友人一同

葬具萬般整頓能在り斯業に經驗深き者專ら業に當り如何なる御儀式にも決して差間無之候 京城大和町一丁目(總監部通) 大和葬儀舍 電話二四三八番

旭町二丁目(名古屋城下) 株式會社 京城葬儀社 本社は支店出張所等無之に付御用の節は直接御用命願上候 靈柩馬車の設備有之候 二川屋事 中河原重吉 井上芳太郎 電話九五七番 電一五六七番

西曆一千九百十五年 陰曆八月十九日
日出 六時二十三分 日沒 六時二十七分
滿潮 仁川 午前 [illegible] 午後 [illegible]
釜山 午前 [illegible] 午後 [illegible]

西鮮練武

十月上旬五日間に亘り

天高く馬肥ゆるの候を期し西鮮の曠野に行はるべき演習の概略を聞くに

▲參加部隊は三道 守備隊の一部にして即ち北軍は平北平南黄海守備各隊の一部南軍は黄海平南守備隊の一部にして双方共機關銃隊を參加せしむ南軍を合すれば總兵千數百名に上るべく西鮮としては未曾有の大演習にして其壯觀今より想ひやらる斯の如く參加區域廣大なるを以て最も遠隔の地より遣かれる部隊は數日前より行動を開始せしむべく其の

▲期日は九月下旬にして十月に入らば直ちに行先に於て敵情を開始し十月上旬五日間に渉つて大隊對抗演習及び聯隊の假設敵に對する演習を行ひ分列式を舉げ其後は一同附近に露營し翌日更に聯隊の假設敵に對する演習を終つて解散する豫定なれば全部の行動を了るは十月中旬なるべし

▲兩軍接戰の場所 は今猶ほ確に報導するの自由を有せざるも平壤附近より順川、成川、江東附近各地に亘る四角形の大同江流域三箇所に於て大隊の對抗演習あり其後某々兩箇所に於て聯隊の大演習ある筈なり當日は軍隊行動の邪魔にならざる限り民衆の參觀隨意なる由

鐵道大競走

南まはり 多島海上より

別府八百吉

予の便乘せる宏壯華麗の商船ハルビン丸は廿六日午前八時濟州島の島影を遙か南方に望み南朝鮮多島海の間を縫ふて大連に向け北進しつゝあり海上靜穩川上欽一、龜井陸郎氏等と同乘其他乘客多し(二十六日午前七時ハルビン丸無線電信發電)

平南麥實收高

四割四分激增

本年度の麥實收高は二十萬一千餘石にして之れを前年に比すれば六萬一千餘石の增加なり即ち左の如し

	作付反別 本年	前年に對し增△減	收穫高 本年	前年に對し增△減
	町反	町反	石	石
大麥	三三、九四五、二	一三〇、八	一〇九、九〇〇	四六、三四四
小麥	一九、三六八、五	五九〇、五	八一、三五三	一〇、八六三
裸麥	二、〇四四、六	△二七七、九	一〇、六二四	四、四四七
計	五五、三五八、三	六三三、四	二〇一、八七六	六二、四五九

即ち大麥は七割三步小麥は一割五步裸麥は七割二步總計に於て四割四分の激增なるが今一反步當りの收穫量を見るに左の如し

	本年	前年に對し增△減
大麥	石八四一	石三四四
小麥	四一九	〇四六
裸麥	五一七	一二〇

而して之れを仔細に見るときは大小麥共に前年に比し作付反別增加したるは麥作の利益大なるに至りし爲也裸麥は生育不良にして利益尠く年々作付反別は大同江東兩郡に於て著しく減退の傾向あり、大麥の作付增加せるは利益の大にして收穫の確なるを自覺して作付者の增加せしに因る又順川郡に於ては大麥の作付減少せるが是れ解氷の晚かりしに起因す小麥の作付反別に於て江東成川孟山の三郡は著しく增加せるが是れ昨年用作不況なりし爲め麥の作付を增加したるに因る大小裸麥共に前年に比し收穫高(反當)を增加したるは生育良好なりしに歸すべく小麥が第一回豫想高より七千八百石を減少せるは成熟期の天候不順と葉澁病の被害に因るものなり

魚鹽四十萬圓

平南の需用高

最近其筋の調査に依れば平南に於ける魚類の需要高は三十九萬三千餘圓にして內平南産は十三萬五千餘圓其餘の廿五萬七千餘圓は之れを管外より供給され其內鮮魚は九萬圓鹽藏九萬二千圓食鹽五萬九千餘圓等を最とす食鹽は在來鹽及び廣梁灣鹽田より多額の生産あるも官鹽は價格不廉にして魚類に使用するには採算の不利益なるを以て其生産高二十萬圓內外は少量の道內需要を除き他は全部他道に移出せられ魚類に使用する分は在來鹽と外に他道産在來鹽又は支那の天日鹽を需用せりと

朝鮮女學生の家庭博觀覽

浦項改築奈何

慶北浦項北川口改修は數年來の宿題にして調査の結果愈々昨年より改築する事に決せしが其後風波の爲め川口變更し更に調査を要する必要あり過日山岡技師出張し委細調査を了し具體的に設計を進めつゝありしに又もや本月初旬の大豪雨にて浦項附近一帶の水害を蒙り殊に北川口は著しく水流を變じたるが爲め更に調査の必要を生じ道廳よりは不日是が調査に着手すべしと雖も該川口風雨毎に水流川口の變更を來たす地形なるが故に今後工事中に右の如き故障あるときは甚だ困難を來たすべきを以て愼重の注意と設計とを要すべしと

南浦圏內の米

作柄良好、調製改善

鎭南浦市場集散米の主要産地たる黄海道の米作況を視察せし某米穀商は語る同道の作況は當初過雨の爲め甚だしく悲觀されたるも其後天候良好なりし結果登熟申分なく尠くとも

南浦の商勢力圏たる地方は平作以上と見込まれつゝあり尚ほ同道にては南浦米の聲價失墜に鑑み目下極力之れが改善に腐心し過般京城より歸來特に米穀調製改善に關する協議の爲め立寄れる篠田平南第一部長とも種々相談せる結果今秋收穫より之れが改善を必行するの意氣込みなりと

[illegible]人員は今後來るべく通知を受けたるもの合計五千餘人あれば共進會開[illegible]
[illegible]贊會が當業者と[illegible]日本側廿錢鮮人側十錢宿料日本人側[illegible]
[illegible]より工事に着手し約一箇月にて竣工[illegible]

江東區劃變更

來月中旬發表

平南行政區劃の變更に關する調査は其後愈々進捗し此程江東郡の區劃變更の調査を終了せるを以て來月中旬發表さるべく其の結果從來二百六十六洞里は二百十五洞里即ち五十一洞里の減少を見るべく尚ほ行政上の便宜より江西郡の中多少江東郡に編入さるべきものある模樣なり

大島紬 見本進呈 鹿兒島市金生町 若松屋

扶餘の觀月會

二十三日午後二時豫定の如く公州を出發し定津渡場より主客一同乘船三時半定津を揚げて扶餘に向て出帆せり一同席定まるや兵站船よりは山海の珍味を運び來り呑み且つ喰ひつゝ錦江を下り約三里の處にて滿月を拜し烏兎、石香諸先生得意のハイ句あり船中實に活氣に滿ちたり午前一時白馬江に著し扶餘より出迎の諸氏と合し公州よりの一行は出迎船に乘換席を改めて一同着席小原長官の挨拶あり來客を代表して丸山本社公州支局長の挨拶あり一同和氣洋々として白馬江を下り途中池上憲兵分隊長の發聲にて長官の萬歲遊谷第一部長の扶餘萬歲等あり無事扶餘に引揚たるは二十四日午前三時なりし

清州雜信

▲秋祭 廿四日は西公園大神宮例祭なれば大に賑はすべく計畫ありたるも早朝よりの小雨に頓挫の模樣なりしが午後より少しく雨間を見て數臺の山車は市中を練廻り夜に入りてよりも相應に賑ひたり

▲長官 荒井度支部長官は二十五日來清豫定にて自動車にて忠州に赴き黄色煙草栽培狀況を視察同地一泊二十六日清州に引返して市內を視察二十七日大田に向つて出發せり

▲卒業 清州蠶業講習所は二十六日午後一時講堂に於て卒業式を舉げ道長官外多數來賓ありたり

▲琵琶 清州の筑前琵琶流行は非常なるものにて同好六十餘名三派に別れて互に研究中なるが二十六日德永座にて聯合大溫習會を開き非常な盛會なりし

▲大弓 弓術連は二十五日錬武館に秋季大會を開き降り來る雨をものともせず互に妙技を戰はしたる後銀杏に於て懇親會を開き午後十時頃散會せり

小川家畜醫院 京城明治町三丁目

●大正足袋の大景品賣出 京城本町二丁目大正足袋支店にては九月廿日より十月卅一日まで共進會祝ひの懸賞附大賣出を始めた、抽籤券は大正足袋二足を買ひ求めた人に一枚宛を渡し景品は一等の自轉車を始め十等まで五千點を提供する由

演藝案內

壽館 本町 電話一〇五〇
▲本月十八日より[illegible]浄瑠璃界の女傑娘義太夫竹本照糸一座十二名[illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三番
[illegible]泰西大活劇『要塞』[illegible]伊賀上野の仇討[illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇番
浪界之四天王名人京山若丸一行來る
◎今晚の讀物 いよ〳〵お待兼ねの『太閤記』京山福造『鹽原多助』京山若丸
春日野若子『召集令』

黄金館 黄金町四丁目 電話二六三七
▲泰西活劇『開の響』不思議の首飾り[illegible]

世界館 黄金町 電話一四三四
當る九月二十五日より
▲松旭齋天洋師出演▲世界的大魔術
▲共進會特別興行▼毎日午後七時開場
土曜、日曜、は正午開演

御成座 御成町 電話二一九一
第十三回替藝題
義男が飼パンか 百年之仇 全十場
●十四日目 喜劇『無花果』全九場
喜劇『石川五兵衛』全二場
▲登場人名 伊井美次郎、石黑史郎、桂木時夫、川上一明、芳川秀夫、吉田操、時井隆之介、富士野峯、淺野健之助、酒田吉夫、池繁一、清川二郎、白川一志、日野萬兵衛、小役水野絹子

有樂館 本町一 電話二六六
新築落成
●廿七日より特別大寫眞提供
△實寫『佛國ドルザイエーの風景』△泰西喜劇『假自慢』△新派大悲劇『夜の光』全三卷△泰西喜劇『假女房』△泰西大活劇『狙擊』全二卷天然色▲日活關西撮影所の一大傑作◎舊劇『毛谷村六助』全四十場 主人公六助は雷名天下に鳴り渡り無双の劍客吉岡一味齋の丟子と成るべき勇士にして事の起りは彦山の麗毛谷村より始り此の六助が一生涯の千化萬裂の起伏波瀾は神飛び肉動く男壯事も在れば魂消へ涙随つる悲壯事もある頗る面白い多趣味の寫眞にして御なじみの尾上松之助大一座が獨特の妙技を奮つたる日活會社最近の一大傑作なり

佐久良座 龍山
大阪若手歌舞伎俳優大一座
●十日目狂言
前狂言
切狂言 荒木造り肥後駒下駄
大序より時迄し迄 だんの浦阿古屋琴責の段
▲入場料 特等一圓、一等七十錢、二等五十錢、三等卅錢 毎日午後二時開演仕候

京城壽座前 太平堂名刺舖 電話二七二〇振替三三六七 地方は郵送料不要

大擴張 共進會觀覽者には特に御便宜叮寧に取扱申候 京城南大門驛前 武藏旅館 電話二三六四番

The MIMATSU'S
"Championship"
LAWN TENNIS
(REGULATION)
BALLS.
They are uniform in size, weight, shape and bound
Yen 7.00
Per Doz.
Makers of
Lawn Tennis Rackets, Baseballs & Other High grade Sporting Goods
MIMATSU & Co.,
HONGO ST., TOKYO.
Catalogue on Application.
純日本製最上等
レギュレーションボール球 發賣!!
東京 美滿津商店 本郷

婦人科 產科 入院分娩應需
京城旭町壹丁目 院主 衣笠茂 中央婦人病院 電話二三四〇番

京城鐘路壹丁目 印材製造販賣 並に印章彫刻 千代田號 電話九八七番 振替口座九八七番
今回左記の處へ支店開設致候に付小店同樣一別の御愛顧偏に希上候
京城本町一丁目(郵便局前) 御印章、版木、ゴム印彫刻並に名刺印刷 千代田號支店 電話一三一八番
追而本支店共萬年筆修理仕り候條御用命願上候

酒精アルコール 手印最上等品及◎印爪硅産格安品各種新荷著取揃居候間御照會次第特別勉強直段御通知可申候
酒精直輸入 一手發賣元 仁川京町(振替口座京城六八番) 鬼頭兼次郎商店

朝鮮名產 唯一の實用的京城みやげ 栗羊羹 發賣元 京城本町二丁目 電話二十七番 龜屋商店

最上薄口醬油 生揚印 發賣仕候 永登浦 大塚醬油釀造所

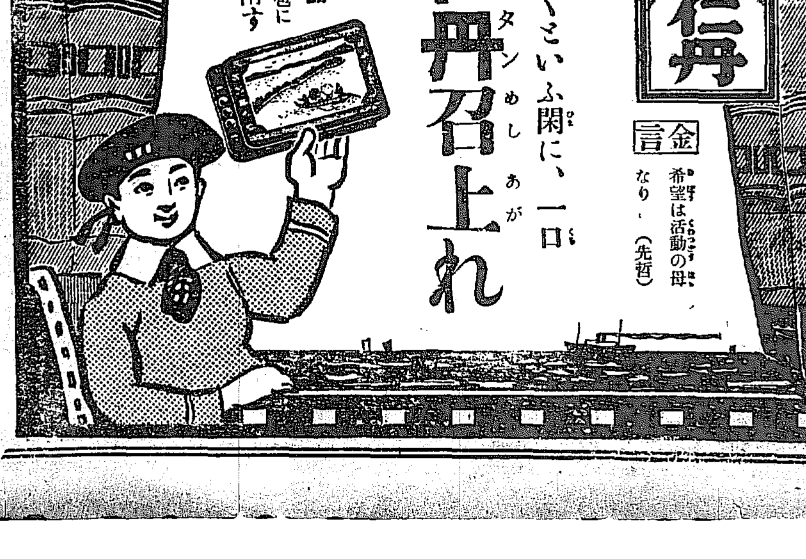
食料品雜貨 食料品 青果物 海產物 京城旭町一丁目(電話八四二番) 問屋 岩城馨商店 青果物 南大門市場卸部 振替口座京城(一〇〇六番)

大日本優良清酒 ハックル 品質純良 衛生無害 釀造元 攝津灘御影町 嘉納合名會社 發賣元 京城本町四丁目十四番地 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

內科 小兒科 入院隨意 京城日出小學校前 多々見醫院 院主 醫學得業士 多々見五郎 電話九四〇番

最上醬油 上〇ヤ最上醬油味噌 釀造元 平壤泉町 內田釀造所 電話一三七番 振替京城一九二四番 支店 龍山漢江通郵便局前 平北道定州城外 安東縣市場通八丁目

金牌受領 上酒壹升に付四拾錢 御卸は特に割引可致候 清酒 美淋 燒酎 釀造元 京城櫻井町一丁目 中井酒造場 電話百七十七番



大岡政談 越後傳吉

第百六十五席

桃川如燕口演 浪上義三郎速記

妻君が喜こんで 妻『どうか願ひます門だけでよろしうございますから』 徂『イヤそうでない、手入をする時には思切つてして了はないとまた直ぐにしなければならない、チヨイ／＼手入をするのは誠に面倒だから一時にやつてしまふ、まづ門を建直すかな、欅の性の宜いやつを選んで左右の柱と扉を造る、塀も今迄の建仁寺迄では離れないから築地にして門内へ石を敷詰めやう 妻『貴夫、そんな大仰な事をなさいませんでも、修繕だけで宜しうございますから』 徂『イヤ手入はする時には一遍にしてしまはんとまた手數がかゝる、其から玄關だ、檜の性のいゝ材木を選んで敷臺から上り框を造る、正面へは上り龍下り龍の彫が宜からう 妻『貴夫そんな大仰な事を遊ばしませんでも 徂『イヤ手入はする時にして了はんとまた手數がかゝる、其から座敷だ、書院作りにして床の間だて、床が大事だから床柱は餘程選ばなければいかね、赤松もイヤ味だ黑柹もいかね、鐵刀木は滅多にないから南天にしやう、二間の塗框、艶消しがいゝ、一間の違ひ棚、窓を半月に明けて地袋の戸は銀錆の無地がいゝ、繪を書いたのは俗でいかね、それから欄間の透し之は唐草だとお寺染みるから遠州がいゝ、廻り縁側にして住居の方へ續ける 妻『まア貴方そんな大仰な事を遊ばしませんでも 徂『ナニ手入をする時にしないとまた後で手がかゝる、今度は庭だ、沓脱が鞍馬石、飛石の配方は其道の人に相談してやらねばいかね、松は樹木の中の公といふから松の宜いやつを植ゑて跡は檜杉のやうなもの、其から梅は是非なければならん、櫻も澤山はいらぬが二三本、庭口の方へは竹だ、竹は雨によし雪によし風情のあるものだ、燈籠の姿のよさゝうなのを二ツばかり置く 妻『貴夫そんなに大仰な事を遊ばしませんでも 徂『ナニ手入はする時にしなければいかん、其から庭の隅へ茶室を造る、是れはまた心を入れて造らんければならん、柱は北山、天井は蒲、屋根は杉皮に白竹おさへ、長柄の橋杭に擬らへて虫喰の爐端、之は金がかゝる 妻『貴夫…… 徂『まア／＼手入はする時にしないといかぬよ、其から住居だ、其外女部屋男部屋、湯殿に物置、馬小屋から犬小屋から一切合切新規に建直すとしていくら掛る、チヨイと算盤を取つて呉れ 妻『貴夫きアそんなに 徂『まア宜いといふ事よエ、ト……二千五百八十兩かまア三千兩あれば出來るな、まア金を出して並べて見よう、内輪でございますから徂徠先生千兩箱を三ツ持つて來た 徂『サア三千兩掛けるとする、どうだ見ろ、立派な普請が出來たではないか、ア、庭が大層奇麗になつたな、イヤまだどうも茶室を遠見にした風情は別段だな 妻『貴夫どう遊ばしました、まだ何にも出來はいたしませんよ、今お話をしたばかりぢやアございませんか 徂『まア／＼いゝから見なさい、座敷も大層立派になつた、床の間から違ひ棚、障子も立派なものだ、建具屋も此位の仕事をすればいゝな、唐紙も能く出來た、何だ模様は流水に秋草、澁い模様だな 妻『貴夫どうかなすつたんですか冗戯ではございませんよ、まだ元通りですよ、秋草も何も付ては居りません 徂『アツ大變だチヤン／＼ン、大變だ火事が初まつた、火事だ／＼ 妻『アレ貴夫確かりして下さいまし、お氣を確かにして下さいよ、どうも先刻から變だ／＼と思つて居たら追々氣が狂つてしまつた 徂『ヤアイ大變だ／＼家が燒ける／＼折角出來上つたばかりの家がやける』惣右衛門先生千兩箱を抱へて駈出した 妻『誰か來てお呉れ旦那樣が氣が狂つた』惣右衛門千兩箱を投出して、 徂『スツカリ燒けてしまつた、元の杢阿彌となつてしまつた、お春や元の方がいゝ、幾程金を掛けて普請しても赤い風が吹けばお了ひだ、金で殘して置けばいつでも家が出來る、サアサア千兩箱をしまつて置きな』妻君のお春殿も呆れてしまつた、鳥渡した事でも荻生徂徠といふ人は面白い事をした人で、學者の中でも奇才に富んだ方でございます。

本場 あゝぬ銘仙 新荷着 京城本町二 ちよぶや 電話八九〇番 振替三〇二番

◎住友肥料の現狀 愛媛縣新居濱町總開なる住友肥料製造所にては工場新築に着手後間もなく歐洲の大戰亂勃發のため注文したる機械類等延着し硫酸工場の落成期遲延したるも八月中旬に至り漸く一組の鉛室竣工したれば直ちに硫酸の製造に着手し引續き肥料の製造を開始し十二月迄に三十萬噸乃至五十萬噸生産の豫定なるが孰れも愛媛佳耳にして諸方の縣農會郡農會を初め購買組合等より見本送達の申込續々たるが既に代理店等も決定したれば本月末より市場に提供すべく尚同工場は本年十二月更に一組の鉛室竣工するを以て生産能力も愈増大すべく凡て最新式に則り設備の完全を期し追て海外にも輸出を計畫しをれり（大阪支局）

◎クラブ化粧品の名譽 數ある化粧品の中特に撰ばれて高貴の御料となり長き過去より度々有難き恩命を蒙らせるのみならず各宮家よりの御用命も常に絶えざる日本名物クラブ化粧品は品質と云ひ效果と云ひ評判と云ひ現代化粧品界に在りて斷然一頭地を抜き白粉も齒磨も洗粉も天下一品との評定あるが目下京城に開催中の家庭大博覽會に於けるクラブ本店賣店に於てクラブ白粉クラブ齒磨クラブ洗粉を始めクラブ化粧品一切非賣品は本月十九日畏くも李王公殿下より御買上の光榮を賜はり更に一層の名譽を加へたりといふ化粧品は愈々クラブの時代となれり

登録商標 住友

開業廣告

愛媛縣新居濱町總開

住友肥料製造所

電略（スヒリ）

製品要目

過燐酸肥料各種

配合肥料各種

鉛室並塔硫酸

大阪市東區北濱五丁目

大阪出張所

電話本局 長二二〇七 長二二〇八 二二〇九 二二三〇八

電略（スヒオ）

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版 最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と丁寧親切を旨とし御高需に副ふ可し 京城日報社 寫眞製版部

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戸大阪行
吉丸 十月 二日後五時出帆
君が代丸 九月 日後四時出帆
神代丸 九月 日後四時出帆
大有丸 九月三十日後五時出帆
第二太湖丸 九月 日後五時出帆
○群山、大阪行
土海丸 日後四時出帆
仁川海岸通五丁目 電話五十九番 高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行 小倉丸 十月 五日後五時出帆
○元山城津浦鹽行 小倉丸 十月十四日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 立神丸 九月廿八日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行 立神丸 十月 七日後十時出帆
○元山、西湖津、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 十月 七日後九時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 十月十三日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 大興丸 毎月二日九日十六日廿一日廿六日 午後十時出帆
本社 釜山埋立新町 電話 大池回漕部

大阪商船仁川出帆
○中國四國各岸各港行一割引を以て通話切符發賣仕候
○外國航路（…を除く）往復乘船の時は五分引を以て…發賣仕候
×○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
漳州丸 九月廿七日
温州丸 九月三十日 午後五時出帆
須磨丸 十月 四日
××○木浦、釜山、長崎行 △は鹿兒島の浦に寄港
安東丸 九月 日
△天智丸 十月 三日 午後二時出帆
××○鎮南浦、大連行
安東丸 十月 五日
天智丸 九月廿八日 午後二時出帆
○○鎮南浦關門神戸大阪行
漳州丸 九月 日 正午五時出帆
○群山、釜山、横濱行
△千珠丸 十月 日
△チヨイサン丸 九月廿八日 午後四時出帆
○大連直行
△千珠丸 十月 三日
△チヨイサン丸 十月 五日 正午出帆
○元山、清津、浦潮行（釜山出帆）
△は城津西湖津に寄港浦汐不寄港
宮島丸 九月廿七日
城津丸 十月十二日 午後九時出帆
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）
安平丸 十月 一日
新高丸 十月十一日 午前四時出帆
御注意
○…
○御乘船客は本船出帆約一時間前迄に…
○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り
仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二番 二二〇番 五五〇番
京城切符發賣所 内國通運會社支店 電話七八〇番

阿波共同汽船仁川出帆
芝罘、大連行
第六共同丸 九月廿九日後七時入港 十月一日前九時出港
本船は當分の間芝罘大連直通にて…
城津、清津、浦鹽行（元山出帆）
第一阪鶴丸 九月 日 後九時出港
（元山出帆）
西湖津沿岸各港を經て雄基行
第三共同丸 九月廿九日 前八時出帆
阿波國共同汽船株式會社
本町二丁目 電話一〇八番 仁川代理店 山下回漕部
元山代理店 田口回漕部
京城南大門 電話（二六八、二〇一七） 河村運送店

京城日報
第三版
年中無休刊
(大祭祝日翌日休刊)
本紙定價　一部金三錢五厘　一ヶ月金拾錢五錢　郵送に限り郵税共一ヶ月金九拾錢　三ヶ月金貳圓七拾錢　▲郵券代用一割増
廣告料　▲五號活字一行金七拾錢　▲雜報欄内一行金壹圓貳拾錢　▲三號活字一行金二號活字同　所指定の一行は二號活字同　▲六號活字の一行は…
發行兼編輯人　鬼頭直昭　印刷人　巻口政太郎
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　一〇一四四五・一二五四・一二六八・二〇六　振替貯金口座京城三〇〇番

長松つる(もとい)び布哇で働いて居…の子が生れてヤレ…と又眞黒な男の子が産れた黒白の双兒は何更芽出度いと云ふので船長を…がつて居たが此子も廿日の朝死んだから水葬に附して了つたさうだ▲花●太郎と云ふ人は兩親の富藏と德太郎の間に奔走して自から媒酌人となり…岐阜縣大野郡白川村大字木谷農東屋與兵衛方はその昔江戸相撲に名を知…を…するので兩親は二代目飛驒右衛門たるべく●蝶よ花よと愛育しんで居る▲全身に生首の入墨●十八日…に市谷…たりの生首…首と自分の乳にすがる嬰兒又左の太股には鬼女右の太股には龍を何れも…で渡邊裁縫女學校を卒業した人だが夫婦共稼ぎの意味で今度小石川區役所近くに代書業を始めた相當繁昌しを貰ふ事になつたので菓子は…手切れ金五百圓を貰つた菓子は之れを資本に獨立するさうだ

模範的殖民地

米國紐育に於ける有名の新聞經營者クラーク氏は日本漫遊前時朝鮮の感想と『朝鮮は模範的殖民地に改造せる日本』と題して紐育サン紙に寄稿せり其項目中朝鮮の一節を抄譯せば左の如し

朝鮮は輕々に看過すべきに非ず、該半島は黄海及び日本海の間に突出し連山谿間の平地より成り其面積八萬四千平方哩に亘り、千五六百萬の人口を有せり、而して普通旅行者の多くは朝鮮は古代文明の揺籃にして文化和進み誇るべき人種の邦土たりしも暴戻なる國内壓制者の乘ずるところとなり王或は皇帝の治下に在りながら五百年間に於ける税政誅求の結果自立し能はざる無能力なる國民となりし興味ある歷史を玩味するもの非ざるべし、而して島國人たる日本人に宗教文學藝術の思想を注入なしたるは朝鮮なり千五百年前支那文學の日本に輸入せられ、日本文學の基礎を成せるも皆朝鮮を介しての事なり兎も角朝鮮は地球表面上に露はれたる文明は猶幼稚なりと雖も、人類文化に關しては何人も至る處甚だ古き感想を惹起するなるべし想ふに何人も米國を出發し亞細亞に近接するや布哇群島の地球上發達の最近のものたる感を有するなるべし、彼の噴火山の頭角は昨日大洋床より突出したるが如く見え而も地球の内部より流出したる熱湯の乾燥物は幼稚なる緑色にて珠藻に蔽はれたるを見るべし、日本に達すれば同國は火山脈に彌し地質の起源甚だ古からずと雖も無數の突出せる山岳其他奇異の現象は古色充滿せり

更に朝鮮に進めば日本より一層古き國たるを知るべし、然れども朝鮮は亞細亞の一半島なるを以て東半球に於ける支那西比利亞より歐洲の北海に突出する露西亞及び獨逸に至る諸大陸に比すれば餘りに太古の國なりと云ふを得ざるべし、猶近代に於ける朝鮮の興味ある事實は衰廢せる君主國として數世紀間荒廢に委ねたる貧弱國が今や組織的に富裕なる國に改造せられ且つ從來遲鈍にして無力なる人民を元氣あり抱負を有する國民に指導せんとする日本は殖民建設者として甚大なる經驗を表示せり、是等の現象は何人と雖も具體的直に承認し難かるべきも、吾人自身は舊外務大臣たりし牧野男爵の東京に於ける幽雅なる邸宅にて會見したる時初めて其具體的意見を聽き、日本は朝鮮に關して數世紀に亘り關與し他諸外國に比し最も密接なる關係を有することを知れり、而して朝鮮は常に日本或は東洋の平和に障害を與ふる根源にして何人か朝鮮に干與するも露西亞にまれ支那にまれ始終日本に依りて監視せられざるを得ざる可く男爵は猶語を續けて曰く『今は幸に日露戰爭の後朝鮮は併合され一部の問題は既に解決せられたり而して殘るは唯朝鮮半島其れ自身に在り』と(未完)

大共進會　出品概觀(十三)
第一號館(水産)

▲鯨類及副産製品

更に目を東側の壁面に轉ずれば長さ四十餘間を傾せる東洋捕鯨會社の陳列莚あり鯨類及び其製品を網羅し一般人の鯨に對する觀念は肉、脂肪、骨等を以て鯨の高價なるを想像し居れるも其他筋、鬚、尾羽毛、臟腑の如き亦其副産物として頗る價値あるものにして今假りに體長八十尺を有せる白長須鯨の全價格六千圓なりとせば其三分一は之れ等世人の想像外なる副産物より收納するを得可し、玆に陳列せる背美鯨、座頭鯨、長須鯨、白長須鯨、抹香鯨、克鯨等の標本を對照せば鯨にして其種類形狀並に體軀の大小を窺知し得可き而已ならず彼の副産物より精製されたる花筵、胴衣、卷煙草入、杖、掛履物、表等の美術製作品並に各種の鯨油等の出品を一覽せば此の巨大の動物が如何に貴重品製作の原料を供給せるかを知ると共にまた鯨價の貴重なる所以を了解すべし

▲濟州島沃土製品

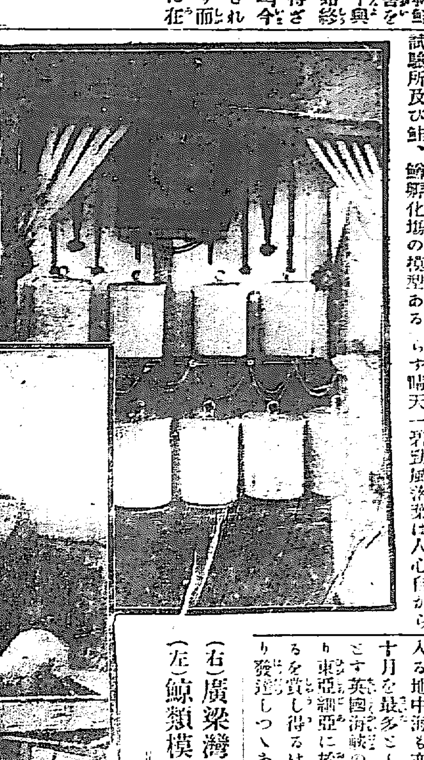
之れに降りて濟州島石原圓吉氏の沃土製造品の如き亦一顧の價値あり、濟州島に於て海濱に打ち寄せ又は沿海中に繁茂せる多量の搗布の如きは從來捨てヽ顧みられざりしが同氏は明治三十二三年の交より此地に沃土製造所を設置し、漸次其製造額を擴大して今や粗製沃土にて約五萬圓、鹽化加里にて約一萬圓、其他硫酸加里、食鹽等にて四五百圓、合計約七萬圓の産額あるに至れるを知らば一片の海藻と雖も其利用の如何に依りては斯の如き生産を得可きを覺るならむ。

▲場中の各種模型

場の中央には總督府出品の寒天製造●試驗所及び鮭●鱒卵化場の模型あるを見る可く、又た全羅南道廳より海苔養殖場並に迎日灣漁業組合よりの鯡漁場模型を据えたり、寒天の製造は試驗著手以來未だ三年を出でざるに民間の産額既に十萬圓に達し、鮭鱒養殖の如きも亦年々三萬粒以上の稚魚を養成して之れを北鮮各河川に放流せり、海苔製造事業にありても全羅南道に於て既に十五萬乃至二十萬圓の産額を示し、鯡の漁獲亦三十萬圓に達せる盛況を知らば併合以來勸業獎勵の效果が如何に顯著なるかを推知し得可し

▲天日鹽と其鹽田

更に場の東北二十坪を割せる鹽類には中央に廣梁灣鹽田の大模型を据え其一隅に天日製造鹽の次第を示せる小模型を置く、又周圍の壁には上部に廣梁灣鹽粉碎工場の實景其他採鹽に關する各種の寫眞、圖表、統計等を擧げ陳列棚には廣梁灣並に朱安に於ける各等鹽を排列し且つ鮮内各道の普通出品百餘點を陳べり、而して東北の一區劃に示せる英國產岩鹽及墺洪國スチリヤ州產鹽は稀有の參考品として亦觀覽者の目を惹けり



(右)廣梁灣天日鹽の陳列　(左)鯨類模型及び其製品
＝第一號館水産部＝

閑餘隨錄　大谷光瑞

一、秋色

大火西に流れ爽涼漸く生し紫薇花謝し胡枝正に闌なり溽熱既に洗ふ如く身心正に凋適なり况んや秋漸く酣く明月清輝を揚げ紅葉青山に潤るに至ては又春色と艷麗を爭はんとす夫れ春色は綾なり秋色は急なり和風麗日暖風蕩々の景は慢遊日の傾くを知らず晴天一碧勁風落葉は人心自から急ならざる能はず况や短景の此を促すに於てをや古より騒人の此に對ずるや又別あり杜少陵は千古の詩人なり彼の傷春と秋興と又等しからず沈欝は彼の詩なり加ふるに彼の性の褊急を以てす故に常に急なるを免れずと雖も傷春五首と秋興八首と較ぶるに自から緩急の差あり傷春曰く天下兵雖滿、春光日自濃と秋興曰玉露凋傷楓樹林、巫山巫峽氣蕭森と更に進で寒衣處々催刀尺、白帝城高急暮砧に至ては其急なるや聞くを許さゞるなり彼の金玉の大文章は明かに春色と秋色の緩急を示せり春と秋と綾急の外春は和を尙び秋は清を尙ぶ春空雲靄く淡靄輕く西山に罩めり秋天は纎毫なく千里一眸に入る緩なるが故に和なり急なるが故に淸也緩にして和而して配するに濃艷の花を以てす、故に動もすれば人を嬉せんとす急にして淸而して加ふるに枯葉凋落を以てす故に秋色は之を傷まざるもの稀なり然れども如此き春秋の差は唯本邦及び支那に於て云ふ論にして換言せば東亞細亞の範圍のみ印度東海岸の如きは十月より雨季に入る地中海も亦秋季は雨なり西部は十月を最多とし東部は十一月を最多とす英國海峽の兩側亦秋季は雨期なり東亞細亞に於て秋色の淸澄に徹するを賞し得るは亞細亞大陸に秋來より發達しつヽある高氣壓の賜にしてこの附近のみ天惠に浴せり春秋の氣象關係は四時常春の下に記せるが如し今之を再せず夫れ秋色の美は淸にあり和にあらず故に天色の淸澄なるを第一とす之に次ぐを紅葉とす又以て春花に敵するに足る葉の美に至ては新緑の及ぶ所に非ず况んや春花の大半は枯枝の間に開けり今葉の美を叙せんとす紅葉の美は我邦の如き世界に於ける最良の一たるを失はず此の外加奈太、東部印度カシユシル皆比肩すべし支那に在ては甚だ稀なり我邦の紅葉は槭樹屬を第一とす、(俗に誤て楓と云ふ全く別物なり槭はアカーなり楓はリキダムバーなり楓は我邦に稀にして槭は支那に少なし楓は葉多く三叉を出せり槭は通常邦人の知るが如し是れを混じて記せるは誤謬なりとす)槭樹は其種頗る多し然れども大半は我邦の產にして其他はカナダ及び合衆國なりとす就中我邦の槭樹紅葉の美は他種を壓し園藝用品として歐洲に輸出するもの少なからず(未完)(九月十日旅順に於て)

停雲會詩集

雁南飛　竹圃　韓奭敎
碧天如水雁南飛。斷送一群雙眼睛。叫來滿沒抵雲處。斜去玲瓏落照輝。殘夢邊塞風颯颯。舊情隨暖路依依。誰家征婦思偏切。遥寄雜書更搗衣。
之亭日可窺藻籬、

雲煙　大道白
西風吹雨入山扉。一夜秋心正換衣。多少滄江江上雁。叫寒個個向南飛。
之亭日淸穩、

同
縱年漸北信書稀。白露涼侵征婦衣。一夜紗窓空吊影。江楓月下雁南飛。
之亭日合補雁南飛新樂府、

同
一夜孤窓冷客衣。回思鄕國故人稀。繞庭絡緯啼何急。又是孤鴻掠月飛。
之亭日情景俱到、

芙蓉生
幽居寥寂客來稀。蟾影蒼涼滿竹扉。想泡家山新釀熟。天邊夜夜雁南飛。
之亭日好個秋士、

淸涼寺偶吟　押蹄松濤深谷佐市
溪聲岳色總禪機。入夜龕燈影欲微。古佛無言供買酒。醉中求句月天歸。
之亭日淸雅、

再疊　押横　同人
林深非雨苔長濕。境靜無風松自鳴。詩就仙壇延紙處。羅裙滿月墨蛇横。
之亭日奇峭、

日報歌壇

□チルの着物　萬里子
乳色の縞のネル着て秋かせにや、淋しさを足らひし心地。
自らをつくらふ程の弱さをも泣きたきほどに思ひながら。
□ちぐさ　大芸居
ふとおのが麦わら帽に滲み出しくろき汗嗅ぎ泣かむとするも。
ても嬉し艾は灰になりをはり、はつと息吐くその深さかな。
□暮れゆく空　みどり
病み疲れたと物悲し窓によりて暮れ行く空を眺めぬる哉。
□秋　園子
國師堂の扉に秋の陽流れけり木の葉の騷ぐかるき響に。

旅中吟　玉堂

釜山發
見返れば霧與にもろ灯かヽやけり
下關著
雁並の帆や時化後を晴るヽ秋
車中
日照返す浪頭基地の秋の蝶
出來掛け傘並ぶ屋根白ろ晴るヽ秋
京都著
雪によかりし住心地こたび月頃も
東京著
朝湯へと誘はれつ市の初鰯

本日朝刊共附錄八頁

模覆範刻　萬世不朽の世界的大寶典

當代碩學訂注釋
漢文大系
▼架上の本書は直ちに家庭の美風を語る
金裝本　毎卷八百乃至千頁
各卷定價一圓五十錢　郵稅內地十六錢、台樺鮮支四十五錢
●廿二卷にて全部完結

(新刊)第廿編
淮南子孔子家語
文學博士　服部宇之吉先生校訂頭注
紙數一千餘頁　特價壹圓八拾錢　郵稅內地十六錢
淮南子收むる所天象地文より人事百般に及び、古來百科全書を以て目せらる。孔子家語は重要なる古典籍より孔子の事蹟を蒐集補綴せる者にして孔學研究上決して忽諸に附するを得ざる者とす。舊本道藏輯要本道藏本及服部南部校訂本等を參照して校訂せり、今邦儒標注に據りて補注す。今原作者王肅注に加ふるに現代流傳稀なる何孟春注全部を以てし、內閣文…學者學生は勿論支那國民性を討究して東亞の風雲を窺知せんとする士逸す可らず
既刊書目　一四書　二古文後集唐詩選　三禮詩　三四八家文　五十八史略孝經小學弟子職　六、七史記列傳　八韓非子　九老子莊子　十、十一左傳　十二詩經書經(以上正編)　十三列子七書　十四墨子　十五荀子　十六易經傳習錄　十七禮記禮器圖　十八文章軌範古詩賞析(以上續編)　十九戰國策
▼取揃割引　十八冊(正編)廿七圓　▼十二冊(續編)十八圓　▼六冊(續編)十三圓五十錢
見本進呈　往復葉書申込次第
東京神田　冨山房　振替一〇五

新刊發賣
兩京去留誌
▼四六版總クロース上製箱入　記事二七四頁　繪畫寫眞三十二種　定價金壹圓五拾錢　郵稅本社負擔
著者の東京、京城間を往來する其の幾回なるかを知らず。而も其の往來毎に感興愈々新鮮にして、其の秀聲の觀察と獨特の靈筆を揮つて兩京間の天然と人事を叙するや、雲烟飛動し人物躍如たるもの固より其の所なり。而して記する所單に兩京に止らず、或は途中過眼の光景を記し或は觸目の偶感を叙す。不用意の文字眞情流露し、而も簡淨疎宕の小品の妙を極む。特に『雲養集を讀む』の一文は、朝鮮の碩儒金允植子の人物と文藻を解剖して剩す所なく、『朝鮮統治の要義』は五十頁に亙る長文にして、著者の朝鮮統治に對する經綸を吐露して萬丈の光焰を揚ぐ。加之、平福百穗氏を初め諸畫伯の繪畫は皆實境に臨で描く所に係り、喞々眞に逼るの妙あり。體裁淸雅高尙にして眞に几上の淸賞に堪ふ。
簡淨疎宕なる山川人物の描寫
明快透徹なる朝鮮側面の觀察
蘇峰學人著
平福百穗、山下鈎、鶴田樂村、柳田謙吉、前川千帆(五氏畫)
▼本日着荷發賣▲
賣捌所　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

第八回新學期開講
入會の最好機は今也　■入會金全免の特典あり
本會に入會すれば　講義錄一號より配布す
毎月二回宛講義錄の配布を受ける外有益多趣味な婦人雜誌女子之友を毎月配布され父母の膝下で家事の傍ら僅少の學費を以て高等女學校卒業程度の學力を得られます、講義中解らぬ所は講師諸先生が親切に質問に答へられ學校で學ぶのと少しも違はず特に婦人に大切な裁縫理科造花編物などは女學校以上に詳しく學ぶことが出來ます
實修女學講義錄
本會講義錄毎號は竹田宮妃殿下　北白川宮妃殿下　台覽　東伏見宮家よりは毎號送附の御下命を賜ふ
講師は皆女子教育に經驗ある一流の大家
講義は平易尋常小學卒業者には充分解る
卒業一箇年半
會費は極低廉一個月の遊學費にも及ばず
講義錄見本付會則無代進呈　葉書を以て又は電話にて申込あれ
東京神田　電話本局三〇〇二　大日本實修女學會

列強大戰

▲佛軍有利 巴里來電＝佛軍の砲撃は益々猛烈となり且つ戰鬪上重要なる時期に入れり佛軍の戰線は有毒瓦斯を含む榴彈雨下の間に在りて恰も大盤石の如く泰然たる地位を占めたり公報に據ればアラーの佛軍の砲彈は敵に多大なる損害を與へたるが獨軍もシャンペーン及びスーヌーンベルセスポンスショーフに於ける諸點に有毒瓦斯を見舞ひ佛軍は之に對し猛烈なる砲戰を爲したりアルゴンに於ける佛軍の砲兵は諸地點に於ける敵の塹壕を破壞し修理工事に從事しつゝありし敵を驅逐せりローレンに於て有毒瓦斯彈を使用せる敵は悉く擊退せられたり(倫敦電報)

▲希臘決行 雅典來電＝希臘皇帝及び首相ヴェニゼロス氏は巴爾幹の風雲に對し必要なる手段を執るに意見一致せり是れ希臘は希、塞間に存在する條約に基き塞耳維に對する義務を遂行せんとするものなり(紐育電報)

▲ウ氏激怒 墺使の誹謗に因り ヅンバ墺國大使が其本國外務省に送附せる書簡に於てウヰルソン大統領を誹謗せる事判明したる爲めウヰルソン氏の激怒一方ならず同氏は遂にヅンバ大使は矢張正式に召喚せられざる可からず賜暇歸國の形式を取りて再び渡米せずといふが如きは許容し難しと主張せるに至れり是れと同時に米國政府はヅンバ大使が正式に召喚さるゝにあらずんば同大使の依頼に從ひて聯合國よりの通行許可券を取寄することを拒絕し只和蘭汽船に依り危險を承知にて出發することのみを許容す可しと言へり目下米國に在る獨逸大使館武官キャピテンパペルも亦恐らく退却を餘儀なくさるゝに至る可し(紐育電報)

▲獨國債應募額 アムステルダム來伯林よりの電報に依れば第三回軍事公債の應募額は六億百萬磅に達せりと而して其中には政府の國債局が種々なる擔保を以て應募者に貸與せる前回公債の假證券をも含むならん(倫敦電報)

▲露のラック奪還 露都來電に曰く露軍はラックを墺軍の手より奪還しノースタウンの戰鬪に於て四千の捕虜を得たりと(倫敦電報)

◎朝鮮貴族總代 大禮參列者

十一月御擧行の即位禮及び大嘗祭に參列す可き朝鮮貴族總代十一名は左の通り決定せられたり(東京特電)

侯爵 李載覺
伯爵 閔泳璘
子爵 李埼鎔
子爵 閔泳韶
男爵 韓昌洙
男爵 朴齊斌
男爵 趙東陽
男爵 閔泳潤
男爵 李容綺
男爵 李允用
男爵 金鶴鎭

◎正隆銀行增資

日支兩國人の合辦に係る滿洲正隆銀行は先年安田家の後援に依り面目一新し一割の配當を繼續し來りたるが今回山東地方新に我勢力圈內に入り商業發展せるより今回資本金を三百萬圓に增資せり(北京特電)

◎議員支那視察

衆議院議員支那視察團員村松、黑須、三輪、井原、淺野、齋藤、小山、高柳の各代議士津久井書記官は廿六日午後六時下の關山陽ホテルに集合關釜連絡船にて朝鮮經由視察の途に上れり(東京特電)

◎藤山雷太氏渡鮮

大日本精糖會社々長藤山雷太氏は朝鮮及び支那に於ける經濟事情視察の爲め二十六日午前八時三十分東京驛發渡鮮の途に就く(東京特電)

朝鮮大共進會

十三道陳列競べ

□金剛山が一眼に見える 農產一戶七十四圓平均の江原道

飛行機上から瞰下したら斯くも有らうかと思はれる精巧な金剛山の模型を中央にしてその臺側には金剛山の奇觀、絕景の寫眞十數種を陳列した勢務縮內江原道の陳列場は半北の側にある、金剛山の模型が毎日々々多くの見物の呼物となつてゐるのは云ふまでもない、西側は伊川郡の石器、磁器に始つて、賦役工事道路改修の寫眞、次で

■地方改良の治績を語る 各優良面、面長、書記、衞人に關する大和綴にした文書十數冊が陳べられてゐる、一箇年四千五百三十八貫を採掘せる杆城金剛山產の重石に隣して年七十八萬四千百三十一圓の產額を有する水產物の中二十二萬六千九十圓を占むるいはしを始め明太、さば、セイチ、あはび、なまこ、石花菜、するめ又製品では鮑と蟹の罐詰等の實物標本がある、主要農產物の米、粟、大豆、小豆、麥の實物標本

■寧越郡の煙草 何れも見るべく、中央正面には管內地圖を掛け副業產物としては畜產、養蠶、蜂蜜、蜜蠟等が寫眞や實物に依つて示されてゐる、又林業上の材料として本道に產する七十種の材木標本を出陳したのは好參考資料たるを失はぬ、その代表的のものはあかまつ、なら等で副產物として松の實、椎茸も出品されて居る、學校生徒や實習生の製品の中には紬や木綿の織物がある、之れ等の標本實物の陳列された上部には土木、戶數及び人口、地方費、水產、畜產、養蠶、林業、稅務、理財、教育の各統計圖表が掛けられてゐる、之れで見ると本道の農作物は

■一戶當七十四圓六十一錢三厘になつて居る、又繭は大正三年度の產額が二千八百五十五石に達してゐる蜜蠟は年三萬五千斤、蠶は年二十四萬五千斤の產額を有してゐる、倘ほ正面管內地圖の前には學校農業實施規程に基いて設備された立派な農園を前庭に備へたる洪川公立普通學校の模型がある、果樹園に、水田の苗代、野菜畑等の精致を極めた造り方で鮮人の農業上の思想を涵養する上に利する所の多いのは勿論如何に道當局者が朝鮮兒童に

■農業上の新教育を施すことに腐心せるかを知るに足るのである、又前述の金剛山模型には一々立札で『萬物相』『九龍潭』『海金剛』『鐵道ホテル』等とその名稱と位置を明示してあつて、寺院や建物の形まで明かに見ることが出來、その探勝の道路も明細に表してある。

◎鑛業大會 盛會を極めたる廿六日夜の大園遊會

▲ホテルの盛宴 在朝鮮內外鑛業家の懇話會は廿六日の正午を以て終り、同日午後六時より朝鮮ホテルに盛大なる懇親會を催したるが當日招待せられたるは山縣政務總監、河村師團長、池田、檜垣、宇佐美、國分、松永、佐々木の各長官、兒玉、關屋、持地の各局長、小松崎長、秋山參事官、小宮次官、吉原東拓總裁、原田朝鮮社長、牧田、原田、和田、神保、梅、堀、服部、渡邊、末廣の各博士、堀代議士、白石、英、米、佛の各國代表者を始め總督府の各局課長、實業家、新聞雜誌記者等主客三百有名朝鮮ホテル創業以來の盛會にして定めの時刻六時半に一同定席に著きて大食堂の側面階上より起る李王家樂隊の劉喨たる樂音に伴れ茲に盛宴は開かれ純白の卓布を飾る紅白とりどりの名花は燦々たる電燈の光に映發して美はしさ謂はん方もなく古への羅馬の宴も斯くやと許りの賑やかさなり酒杯一わたり廻りたる頃村田發起人總代は起ちて主人側を代表し挨拶して曰く「共進會を機として在鮮內外鑛業家の懇話會を開會し本夕此の宴を開會するに方り斯くも多數の來會を忝うしたるは發起人の最も光榮とする所なり、朝鮮の鑛業は有望なりと雖も未だ年產額一千萬圓を出ずして幼稚の境を脫せず今後時勢の進運に伴ひ漸次發展を來すべきは疑ひを容れず、此機會に於て在鮮鑛業家の奮鬪を囑望して已まず」と述べ一同の健康を祝して乾盃す之に對し山縣政務總監の來賓を代表せる祝辭あり曰く

共進會を機として開會されたる鑛業家懇話會に於ける園遊會を催さるゝに際し一言の祝辭を陳ぶるは予の最も欣幸とする所にして、朝鮮の鑛業は只今發起人より承はる如く前途又頗る遼遠なり併し乍ら和田博士の言に依れば、朝鮮の鑛產額は二十年を出ずして現在の一千萬圓より一躍して一億圓を產出するに至るべしと云ふ、而かも此言は和田博士の意見には非ずして、聖德太子の未來記に載する處なりと聞く果して然らんには朝鮮鑛業の前途は有望なりと謂はざるを得ず、此時に於て在鮮鑛業家の大會を開かれしことは最も祝す可きことにして今後更らに一層の努力を冀はざるを得ず、とて盃を上げて鑛業家大會の前途を祝し歡興正に酣なるに當り政務總監は再び起ちて天皇陛下の萬歲を三唱せんと自ら音頭を取り會衆之に唱和して歡聲堂を搖かす之れにて食堂を閉ぢホテルの後庭に於て模擬店を開始す

▲大園遊會 模擬店は裏手六角堂を中心として裝を凝らせる小舍を設くること其數十有三順次に列ぬれば 煙草(喜久家)ビール、ウイスキー及びサイダー(明治屋)清酒(花月)すつぽん吸物(清華亭)日本酒及サイダー(山邑酒造所の物(千代本)うどんそば(白水)でんがく(喜久家)ビール、シトロン、及日本酒(三巴)朝鮮料理(明月館)菓子(喜久家)しるこ(松翠樓)果物及枝豆(松葉亭)等珍味の數を盡して客を呼ぶ中にも清華亭のすつぽんの吸物と喜久家のお茶漬とは最も氣の利いたる思ひ付にてお茶漬の漬物は餘程會衆の氣に入りたりと見えたり、客は是れ在鮮の貴顯紳士、所は朝鮮隨一の大ホテル、模擬店には京城旅亭の粹を拔いたる珍味佳肴加ふるに一粒選の紅裙酒間を斡旋したる事とて主客十二分の歡を盡す、其間一隅の餘興場には京城券、中券及び妓生等の舞踊數番ありて興を添へたるが斯くて散會したるは九時を過ぐる頃なりき

◎鮮鐵收入激增

七八月中の一日平均運輸收入は一萬五六千圓に過ぎざりしが共進會開催と共に乘客激增し一日平均收入三萬圓以上となりたり

◎涉外經濟調查目的

今回涉外經濟調查會設置の目的に就て阪田通商局長は語て曰く大戰亂に基づく世界經濟狀態の變動に際し經濟上帝國の世界的飛躍を策し且つ之が實行を期するもの也獨墺製品の輸入杜絕其他歐洲產貨物の供給減少に伴ふ

▲善後策として 代用品の製出を企て次で近隣諸國に於ける歐洲品輸入難に對し缺陷補充の途を講ずる等時局を利用して積極的に貿易の進張を圖ること例へばボルネヲ新嘉坡間及び同上盤谷間の航路の如き從前獨逸汽船の擴張內に在りし海上運輸業の經營に關し我より進みて其遺產を承繼する手段に取懸ること戰時及戰後に亘る金融の推移に鑑み或は支那滿洲に對する投資策或は歐米中心市場との接觸策、進みては近接東洋市場との通貨策等商處

▲大局より打算せる金融政策を要するに、從來の學究的若くば刀筆吏的調查報告を能事とするは本委員會の性質に非ずして從來の研究を主眼とし委員會の事業をして即座に實際的效果を生ぜしむる底の方針を蒙す隨て場合に依り商工業、航海業、金融業等の關係者と接觸する機會も多かる可く又次第に依りては官民兩方面より適當なる有力者を獲て委員會の規模を擴張することも測り難し進莫南洋印度向輸出品に粗製濫造の非難昂まるは去る年ら斯かる發展的機運に際會して

▲世界的飛躍を遂げむとするに當りて之が矯正取締の要愈々切なるを感得する次第也即ち之等の諸點に涉りても夫れ〲方策を樹つる筈也(東京)

◎關東始政十年祝典

朝鮮にては始政五年記念を機として大共進會を開設し臺灣にても始政二十年を記念する爲め來春是れ亦盛大の共進會を開設し內外多數の紳士を招待する筈なるが當關東都督府も來る大正五年は恰かも始政十年に相當するを以て之を記念すべく大規模の計畫を爲す由にて勿論滿鐵と相待つて實行すべく未だ何等具體的の成案なきも日支新條約成り滿蒙開放となりて我大陸經營に新紀元を劃したる今日なれば滿洲を紹介し都督府及滿鐵の施設を內外に紹介するは絕好の機會なりと目下當局者間に寄り寄り協議せられつゝあり頓がて何等かの成案となりて現はるべし(大連)

◎對支輸出旺盛 南支那は依然排貨

對支輸出は春來買控へと排貨の爲め久しく澁滯せし反動として七月來綿系布、砂糖、諸雜貨其他の必須品の積出は依然旺盛を極め殊に目先中秋の需要を控へ居るだけに支那內地の荷捌けも可なり觀るべきものあり旁々長江筋の秋作は概して豐作なるに依り今後も尚引續き相當の需要あるやに察せらる併し南支那廣東方面より沿岸諸地方に於ける日貨排斥運動は今尚終熄せざる爲め同方面向き要は捗々敷からざるが代用品の無き海產物其他の必須品のみは弗々賣行けど排日熱の依然として潜伏せる同方面のこと迚本邦汽船に對しては已むを得ざる場合を除く外搭貨を託せず排貨を繼續しつゝありと(大阪)

◎軍艦觀覽中止

二十八日は閑院宮殿下台臨に付き同日大軍艦觀覽を中止する事とのこと

◎面經費決算

大正二年度に於ける鮮內の面數は總計四千二百八十面なるが同年の經費歲入出決算左の如し(但し圓下切捨)

歲入總額 三、〇三八、七三〇圓
歲出總額 二、五八八、八六六圓
殘金 二五五、〇二九圓

◎白仁長官來鮮日程

白仁民政長官朝鮮旅行は豫報の如く二十五日出發に變りなきも大連商業會議所發會式臨席の爲め午後五時三十分を午後二時發に繰上げ往復日程左の如く定めたり(大連)

二十五日午後二時旅順發同八時大連發、二十六日午前五時四十五分奉天著、同九時四十分奉天發同日午後五時十五分安東縣著、宿泊 二十七日午前八時二十分(滿洲時)安東縣發同日午後七時三十分京城著、二十八日より十月四日迄京城滯在 五日午前九時京城發…南大門著…同八日午前十時四十分安東縣發、同八時發、八日午後…京城滯在中元山を始め其他の要地を視察す可し

◎神崎選手渡鮮

北行選手神崎憲一郎氏は因幡丸にて二十六日午前七時半著直ちに連絡船壹岐丸に移乘午後一時解纜せり(門司特電)

◎阿部巡查部長昇進

鍾路警察署勤務巡查部長阿部義光氏は這回警部に昇格し仁川署詰となり不日赴任すと

人事消息

▲小澤武夫男氏(赤十字副社長) 二十六日夜入京巴城館へ投宿
▲長崎省吾氏(同理事) 同上
▲吉安延太郎氏(同主事) 同上
▲複手常治氏(同上) 同上
▲白仁武氏(關東都督府民政長官) 二十七日午後七時半入京天眞樓へ
▲伊藤鐐三郎氏(咸北道第一部長) 廿六日入京旭尾へ
▲岡本正夫氏(平壤覆審法院判事) 廿六日夕赴任
▲中村辰五郎氏(鎭南浦回漕業) 廿六日入京天眞樓へ
▲楠野俊成氏(漢城府尹) 二十六日入京巴城館へ

◎蒙古最近事情

內外蒙古の北部西比利亞に接近せる……流用せられつゝある有樣なり更に旅宿などにて天井襖など……邦人の發展上大に都合好きとなるべし……と稱する地あり……云ふべき職に在り非常に勢力あり……

◎支那新棉強硬

其後十三日第一回入津品として約三百本の入津ありたり本年度は米棉印度棉……行にて目下漢波奴入……錢見當を呼び前途尚は高見越の模樣……不景氣の祭要……

原著、二十四日開城見物の上二十五日朝入京せり、一行は二十八日まで……

大飛躍 カブト・ビール
醇良なるビールは健康と智能を增進す
高尚なるビールは夏季贈答品の女王なり

親切叮嚀 客室完備 平壤大和町 松岡旅館 電話三〇五番

雜貨洋服 仁川本町 京阪洋行 品目 メリヤス類 靴、靴下 綿、錦布、製品 半靴、靴脚絆 前掛、信玄袋 職工服各種

被服品拂下公告
一外套 八十二點 外二十點
希望者ハ十月二十日迄當隊ニ就キ諸事承知ノ上十月四日午前十一時入札
九月二十六日 京城憲兵隊

公示催告
京城府大平通一丁目四十七番地
申立人 合資會社京城日報社
一日本郵船會社發行船貨證券一通
但シ證券番號カ別ノ一號 荷印 不二 竹白紙十個 才數三十一才 荷出主 北海道小樽港富士製紙株式會社 荷受主 京城大和町一丁目百三十六番地 京城日報社 明治四十四年五月十一日第一次神海丸積小樽港出帆
右證券ニ付前記申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ爲シタルニヨリ其所持人ハ大正五年四月八日午前十時迄ニ當法院ニ權利ヲ届出テ且右證券ヲ提出ス可シ若期日マテニ届出及提出ヲ爲サヾルニ於テハ其無效ヲ宣告スルコトアルベシ
大正四年九月廿五日 京城地方法院

內容愈よ充實せる十月號 家庭雜誌
■三百萬の富を貯蓄した華族(電燈も水道もかね拂つた生活)
■勝手口から見た暮し向 田尻子爵の
■乾浴長生術實驗 石黑保秀
▽富豪の家憲……(住友男爵家)
■派出を生活から落ちた大婦人 長屋生活迄(家計簿をつけた方)
▽我家の實驗
▽學校教育と家庭の實際
■御即位の大典と家庭の記念の仕方 鳩山春子
▽童話狐と虎……高木文學士
▽婦人の身嗜……(眼と瞼の化粧手當)
■伊達騷動 宮城野萩子
▽我家の經濟……(各階級の收支研究)
▽講談女庭訓……一立齋文車
■千人の女中を世話して感じた事…… 篠田報知社安信所主任
■東京と大阪の生活
定價拾錢 郵稅一錢 (前金八冊五十五錢郵稅共)
東京本町 博文館 賣捌 全國各書店

朝鮮總督府專賣課所管 人蔘の精粹 登錄商標 高麗人蔘 エキス 錠劑
朝鮮總督府法定消毒劑 登錄商標 アイゼル 液 粉末
本舖 京城鐘路 宜壽堂 井上藥品部 電話園一五七番 振替京城八九九番

各種石鹸 曹達 灰 製造販賣 洗濯曹達 生田組 京城元町一丁目 仁川松阪町二丁目

金剛山寫眞帖 大阪寫眞百葉入コロタイプ版
觀る恰も一萬二千峰に遊ぶ感あり 定價金三圓五十錢
京城市內は電話一一八一番へ御通知次第見本持參 地方は引換郵送
京城櫻井町一丁目五七(電話一一八一番) 多田春風

東京高等師範教授 文學士 吉田靜致先生著 現代と道德
腐敗せる現代を救ふものは獨り本書のみ
現代は腐敗せり個人主義物質主義全盛を極め舊道德は廢履の如く捨てられ新道德の權威は未だ確立せず思想は混沌として頻に動搖し歸一する處を知らざる國民の如し本書は文學士吉田靜致先生が其該博透徹せる學識を傾注して深く現代の缺陷を論じあらゆる方面より現代に適切なる道德の根本問題を解說し現代青年及一般國民の取るべき進路を明示されたる者學者教育家諸氏は勿論苟くも自己を修養せんとする士は必ず一本を備へよ
洋布上製函入 四六判六百餘頁 金一圓五十錢 送料十二錢
京城本町 振替京城二五七三 大阪屋號 釜山大廳町 振替京城二八〇九
東京市京橋區南槇町十八 廣文堂 振替東京四三三
京城 日韓書房 釜山 博文堂

に庫倫の如きは全然露國の治下に在るが如き感ありて蒙古人間にも露語使用せられ露國の發揚ぶりは至る處に[illegible]
は既に日本軍隊の駐屯せるあり又近く日本領事館の開設を見る筈たれば
八の商僧にて喇嘛教の教育係長とも[illegible]
…[illegible]と語つて居る　生れたのだから春雄と命名して可愛がつて居る[illegible]　喜んで商會も邦人に對しては種々の便宜を與へつゝありと[illegible]
りされば是に色拔費用を加算すると[illegible]きは廿七[illegible]上に相當する由なるが[illegible]て内地を買氣一般に旺盛たるを以て[illegible]の排斥と相俟つて人氣佳好の成[illegible]

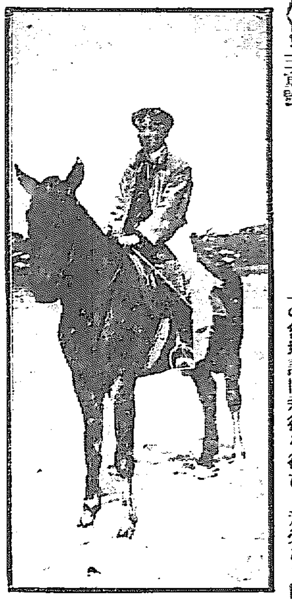
●福岡農校生入京　福岡縣立[illegible]農學校生徒[illegible]二十名は廿三日[illegible]

大共進會

最初の訪問飛行　開會式當日の盛觀

帝國飛行協會の秘蔵息子尾崎行輝氏は二十五日入京して南米倉町の和田常市氏方に旅装を解いた、京城の人は更なり共進會見物に田舎から出て來た人々が指折數へて待ちに待つた飛行機三重號の雄姿を秋空高き京城の中天に認むることも數日の内となつた、揚れ〳〵！飛行機飛べよ〳〵！三重號

龍山練兵場に設けらるゝ筈の格納庫は二十五日材料の蒐集をなし西部の一隅に建築することゝなつたが位置の關係上廿六日西南の小山の下に變更して愈建築に着手したれば二十七日の正午迄には全部竣工し直ちに組立に取り掛り三十日試運轉を行ひ十月一日の開會式當日芽出度第一回の台場訪問飛行を行ひ光榮ある閑院宮殿下の御台覧にも供し奉るを得る次第である



▲馬上の飛行家　鐙を踏めて居るからと云つて居た行輝氏は京城に來て見ると只さへ高い秋の空が一段の様に澄み渡つたのを見ると居ても立つても耐らず、二十六日は早速巴城館に協會主事澤柳少佐を促して飛行場の實地踏査に出かけることゝなつた、澤柳少佐は電車、尾崎氏は驪題の様な栗毛の馬に一鞭呉れて、練兵場差して一目散

▲好都合の氣流　柔かい秋風に駒の轡を撫しながら『全く吃驚する程空氣の具合か宜いですね、朝鮮は内地と違つて飛行日和許の様な天氣だ、此調子なら定めて力一ぱいの飛行が出來るであらう』と樂しんで居ます」と尾崎氏の眉が動く、午後からは京城市内を馬で見物しますと把手代りに手綱を採て鐵蹄憂々

▲三十日試運轉　飛行場なる

旗の波、光の海　大共進會開會當日の市中

始政五年記念の大共進會は愈に九月十一日目出度き開場の式を舉行したれども開會の式は閑院宮殿下御台臨の光榮に浴せんため十月一日を以て舉行することゝなり居れるが當日は京城市内各町を舉げて此盛大なる開會式を祝せんとし日下思ひ〳〵に計畫中の由なるが一日は恰かも各工場の休業日なれば工場、製造所等の職工約三萬餘人一團となりて國旗行列を行ふ筈なりこれに市内各町の催になる假装行列、花車等あり夜に入りては市内一萬の各學校生徒の提灯行列を先頭に市民の一團之れに續き全市を火の海と化す可く京城電氣會社も亦意匠を凝したる數臺の花電車を運轉して景氣を添へしと

日曜の夜　呼物は水中の仕掛煙花

天氣に爲つたと思つてゐると午後二時頃又一頻り雨が過る、共進會場内は觀客の込合つた最中の事とて一時は却々の混雑を呈して、休憩所や賣店は時ならぬお客で一杯に爲る、光化門と迎秋門との仲屋は思はぬお客で大喜び、併しその雨を最後に意地悪い雨雲は飛散して青空には名殘の白雲が高く搖曳するのみ日曜日の觀客は何んとなく落付いてゐて、流石に湧き返る程の見物も時間の過ぎるのを忘れたかの様悠暢と一日の遊樂を恣ままにする趣がある、殊に午後からは觀客の多くが協賛會場の方に繰り込むので演藝館や興業場賣店は一層の賑盛を呈する、此日著京直に入場する筈であつた元山の觀光團五百餘名は市中の見物と豫定を變更し二十五日から開館した角力舘は都合で開館せなかつ

たが、それでも演藝館の平場は滿員、各道の賣店や各商店の賣店前にてお土産物を仕入れる客が一杯に集うてゐる、娘曲馬も九分の入り、不思議館、矢野動物園、迷路館、ジネオラマ、朝鮮芝居何れも相當に客を入れて居る、それにけふは嬢ちやん坊ちやんを伴れた家族連が多いので遊戯場からこの興業場の内外は一しほの人出を見せ、渡邊高等法院長や青木水産課長、足立十八銀行支店長等のモーニング或は背廣、和服等で家族引具しての見物を始めとして平常の厳しい正服を軽い平服に着換た役所の歴々の姿も多く見受けらた。▲尚ほ夜に入つては九時から既報の如く慶會樓畔の池の中で呼び物の

三河名物水中仕掛煙花數番があつたので東拓舘、鐵道舘、演藝舘等の盛況は固より興業物も總て大入りであつたのみならず慶會樓の池の周圍は人垣が築かれ、樓閣のイルミネーションや松林が映つて絵の様なその中に朝顔の亂咲、萬燈流し、亂玉等の五彩色美しい光が千變萬化しつゝ飛びては散り水に沈み空に冲する光景に恍惚として醉へるが如く十時から十一時頃迄去りもやらぬ見物で非常な賑ひであつた

それに開會式の十月一日、閑院宮殿下の御來京等も近づいたので殿下奉迎の爲めに京城協賛會では新橋通りの李王職美術品工場の前に千數百圓を投じて大アーチを建設するやら、光化門の全面に大電氣装飾を施すやらでその工事も着々進み足場を掛けて毎日多數の人夫が活動してゐる、又共進會場内の諸舘も陳列が全く整つて、陳列品の説明にも國語の肩に諺文の譯が附加される等開場當時から見ると殆んど面目を改めた觀がある、殊に祭日、毎日曜、毎土曜には夜間慶會樓畔で東京鍵屋の仕掛煙花がある等晝夜とも各方面に非常な光彩を添へて來た

珍客すなめり鯨　千五百貫の鯛縄を全身に卷いて上がつた

二十五日午後五時から仁川水族館に仁川沖から鯨の珍客が御出になつた同夜から構内の貯水地に一丈餘りの偉大な體軀を現して居る淵底に潜つて暫くすると呼吸する爲めに水面に浮んで來る此の際は背にある孔から海水を吹き上る事三尺餘にて水族館内には時ならぬ活動噴水塔が出來た二十六日は多大の觀客が池の周圍を取り券きつゝ好奇心に輝いた目を以て凝視してゐる北海道からの珍客海驢君と好一對の呼物となつて來た此の鯨は本名をすなめりと言ふのであつて矢張り鯨の一種類である、水族館擔任鎌田技師の談に依れば近年各捕鯨會社の發達に伴れて近來の捕鯨數は甚少であるので

朝鮮近海でも殆ど捕れ無いのである、

捕鯨業は妙な歴史を有つて居るので一時衰すと三十年間位は該事業は休止となり恰度昨今が此の時季に向ひつゝあるから近來は鯨は珍らしいのだ捕つてから仁川に曳いて來るのに二三日も費したのであるが漁夫の談によると二十三日頃仁川港を距る七十浬の所群山仁川の間位で鯛縄をはえて居つて引き上げる時間も來たので一方の端から引き上げに着手したところが岩に附著たのか上つて來ぬから不思議がつて居ると豈圖らんや一千五百貫ある縄を鯨の先生全身に巻き付けてばかんと浮いて來たので一同は

喫驚仰天するやら嬉しいやら

泥つちや雜せになつて早速生きた奴を仁川水族館に持つて來たのであるが巨大な鯨の生きた海中生活を見せてゐるので觀客は皆呀と言つて口が塞がらぬ有様である

□今日の演藝舘

二十七日畫の演藝舘の出番は中券番と妓生茶洞組合にして出演藝妓は左の如し

△晝之部

▲御代の榮（踊）　律often、小染、各子、太郎、玉龍、君子、高子、千成、喜代香、國丸、喜代次、政千代、時勇、光江、久子

▲つひのるよべ（踊）　三郎、政男、若菊、小牡丹

▲地方　喜代、ぼんた、おきく、若一、諸み子、二郎、その、一若、光奴、福丸、牡丹、太力、三太、いろは、金五郎、百太郎、々男、蝶々

△妓生茶洞組合

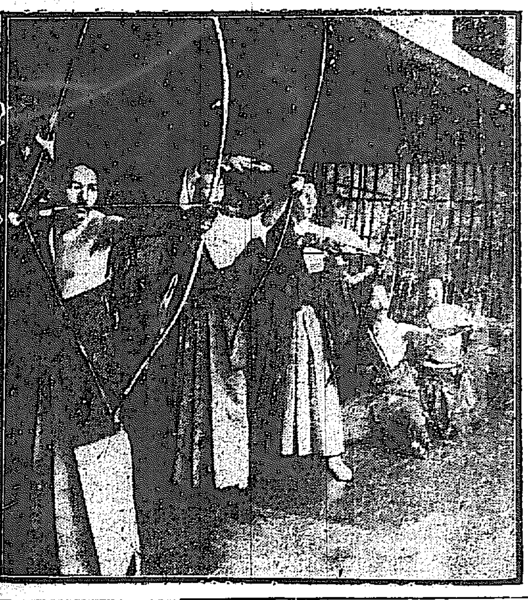
▲鴻門宴　▲百福五舞　▲僧舞

△夜之部

▲活動寫眞　番なるヒルムは左の如し　小笠原狐退治、喫驚、裏返反復、新馬鹿、日本騎兵、右の外妓生手踊、無外舞

奉迎綠門　光化門前の素晴らしき電氣装飾

共進會は日増しに入場者の數が加はるので觀覧券發賣所は從來の京畿道廳前鮮風の建物だけでは間に合はず開場間も無くその向ふ側の荷物預り所をも切符賣場に當てゝゐたが廿四日からは自轉車預所の所に新らしく小型の入場券賣場を建築した、



□弓術大會盛況　弓術大會は二十六日午前八時から壽町倭城臺倶樂部で舉行された此日集るもの京龍間の弓術家は勿論水原、仁川其他各地の同好者百名に餘り頗る盛況であつた、寫眞は金的競射の光景である

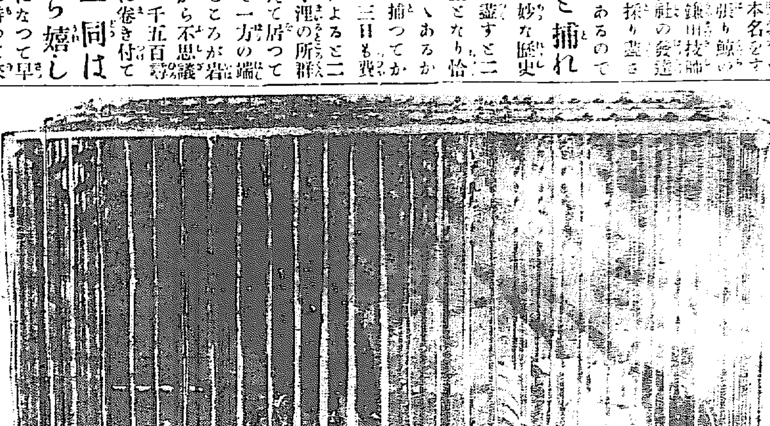
家庭博覧會

晝夜かけての大賑ひ　芳賀軍醫總監の熱心な見物振り

素晴しい景氣であつた二十六日は成鏡南道協賛會の主催した元山其他の觀光團二百餘名が入場した二時過頃一時降り出したがそれも三十分ばかりで歇むと共に澄み切つた秋晴の好日和になつた、元山觀察團は同地の家族連れが多かつた事とて孰れも家の主なる官民を網羅し然かも家族連れが多かつた事とて孰れも熱心に見物してゐた、三時過頃芳賀總督府醫院長が來觀された、醫學專門家であり又家庭に關しては細心の注意を拂ひつゝある方丈に極めて巡覧する、子供室、養老室などは好い思ひつきであると言ひ四疊半、一疊半の臺所は院長がその考案者たる

入澤醫學博士家の家庭を知りその臺所をよく知つて居られる

丈に殊に興趣深く觀た、歯科參考室は總督府醫院の出品であり歯に關する一切の事は圖表その他によつて詳しく説明されてあり觀覧者の注意を惹いてゐると聞いて「之れはいゝ是非觀なくては可かん」といふ、朝鮮中流家庭の内房を觀ると宮中で使ふ儀式用の菓子を觀て朝鮮人の生活を是から少し研究しよう」と言ひ朝鮮料理をまた食ふた事がない』などいふ、食事の仕方子供の抱き方、負ひ方などに就いては特に繰返し繰返し觀て是非に就いて注意される、記者の説明を熱心に聞かれ且つ叮嚀にそれに對する意見を述べ全く巡覧を終つたのは六時少し前で二時半近くかゝつたのは院長が家庭博に對し深い興味を有つて居られる事を實際に語つてゐるもので愉快だつた、此日高杉醤油商店の風船飛揚もあつて夕景まで會場の内外は賑はつたが夜に入つては陳列館が少ない割に入場者が多く頗る盛況だつた



全國記者大會に亜いで釀業大會曰く何大會と此頃の京城は殆ど賑やかなもの、殊に近頃東京大阪の知名の士の入京者が頗る多く旅館は大混雜、目立つて繁昌して來たのは花柳界である、▲記者團丈でも三日間に六回の大宴會、其他大小の宴會は日に幾つとなくある其宴會の崩れは八方に散亂して大小の料理店に散つて了もう、隨つて藝者の此頃の忙しさと云つたらない賣れつ妓は晝から夜更けまで一寸の暇もないと云ふ有様▲平素お茶許り挽いて居る妓でも此頃は引つ張り凧、秋の夜長に此の景氣で料理屋は云はずもあれ藝者連は『藥も一斯う忙がしくて厭になつて終まつた』とは云ふもの、腹の中では常時此景氣ならばと窃かに喜んで居る、▲夫れから新町も桃山も却々の大繁昌、旅の恥は搔き捨てだ何もお土産話の種だと云ひながら一隊の人が相携へて新町に出掛ける向きも尠なくないさうで先づこゝ暫らくば花柳界の殷盛期とでも云ふ時代であらう

●鹽島氏の和歌　[illegible]鹽島氏が[illegible]會招待の答辭に代へたる[illegible]旨同氏より申込みありたり
あすよりは袖わかたんも末ながく今日のよしみは忘れざらまじ

讀者文藝（一等には五十錢の書籍切手贈呈）

はめ繪

（一等）京城府漢江通十五番地 [illegible]

和歌題『後の月、秋の歌』發表來る土曜日
俳句題『芙蓉』二人一句　發表來る金曜日
俗謠題『軍艦』發表來る木曜日
川柳題『鏡』發表來る水曜日
次回拼め繪　發表來る日曜日

輕便印刷器の覇王　堀井謄寫版
販賣元　京城南大門通二丁目　謄寫堂京城出張所
特約店　京城　熊平支店

京日案内　◉番外　一回前金六十錢（無割引）匿名一回毎に金五錢増

朝鮮に無二の製造工場主人病氣歸國に付至急譲渡し度し要資金五百圓位月利益百五十圓以上（元附可）明治町二（明治湯隣）永井小間物店　617

◉マッサージ鍼治灸點特得治療　胃の痛み脚氣腹痛赤痢虎列剌の豫防灸　神經痛り小便以上の病は一二回にて直ります是余の特得たる處なり　府廳官舎前横入　電話一八七八　一陽堂　616

花道家元　池坊生花教授　華心軒秀甫　龍山漢江通　瓦斯會社前　今井菊二郎　615

季節ご甘諸　本場いも品質良好　格安に御小賣り御求めに應ず　龍山大島町卅八番地　振替貯金京城二七三〇番　園根種苗店　614

▲繪葉書と土産物　優秀の物品を破格の廉價に差上候　京城太平町二丁目　共進會本通り　矢頭商店　595

▲藥學生徒募集　十月一日　事務所黄金町三丁目藥業組合内　公認　朝鮮藥學講習所　593

◉瓦製造販賣　青竹あり　京城古市町十四番地　上田商店　電話一三四五番　585

◉謠曲本　一番綴一冊十一錢均一　並に附屬品全部　諸流　京城南山町三丁目　中川松濤堂　583

朝鮮特産　人參ミルク　衛生滋養豊富　見舞品内地土産品には好適本品は主所の特約店にあり　一瓶入廿五錢　櫻井町　製造發賣元　博榮堂　557

◎古着古道具類一般　御一報次第館買に買受候　黄金町三丁目　電話二四三四　四宮商店　554

◉通信教授　バイオリン尺八　講義録發行何人も直に上達する新案特許の方法論より證據詳細規則進呈　九州福岡中島三　大日本家庭音樂會　508

產婆　鈴木みね　京城花園町一〇九番　電話一三三八　461

恩給年金類立替　京城本町三丁目四十番地　電二二六一番　博多屋本店　428

外交員數名募集　外交に經驗ある希望者は履歴書携帶本人來談　京城旭町一丁目電六五九番　御即位御大禮奉拜團朝鮮總務部　608

◉下宿兼旅館譲る　市内唯一の場所客室豊富依都合に此際至急譲る（姓名在社）　609

◉京染萬染物所　御預品は至極迅速に御届仕候　京城岡崎町七〇　憲兵司令部向側　清水堂　606

◉琴曲教授　山田流山勢流　盲人にて專門志望者此際申込れ　警務總監部通り　故松韻先生門人　園田松葉　605

共進會土産　場内御好の背景にて晝夜撮影料金市内より安價團體割引　協賛會場東部　煙草廣告塔側　ムエ寫眞館出張所　604

◉旅館　親切町寧御料理吟味三人以上五六拾人迄團體御投宿各室設備あり尤も團體は四五日前に御報あれ精々御便宜計升　京城西大門町　電二六二五番（中學校前）　優翠旅館

料理店旅館向き賣物　總龍山高臺見晴らし好き家屋建物百坪二階附御望みの方は漢江通り十二番地三木熊之助方へ乞御來談　574

皮膚病花柳病專門　永樂町商品陳列所坂の上　須古醫院　電話二一〇三番　566

移轉御披露　龍山桃山に移轉開業仕候間倍舊御引立の程願上候　龍山彌生遊廓　電話三四三番　開盛樓　613

移轉御披露　中の新地より龍山桃山に移轉開店仕候間倍舊御引立の程願上候　龍山彌生遊廓　電話一二三番　於多福樓　612

◉土産品は翡翠に限る　明治町二丁目村井商會　取次電五五二一番　櫻井町二丁目　朝鮮名産　◎朝鮮豆　◎高麗豆　元祖村井商會　珍菓　新羅豆　電話二三六八番　544

◉普通　一回前金三十錢（無割引）匿名一回毎に金五錢増

◉洋服に有經驗廿四五以上卅四五迄の外交員至急入用但市内に確實なる保證人要　長谷川町　高岡洋服店　618

◉改良自動釣魚器　本月新案登録査定の新發明　共進會中割引詳細は送れ　秋田市手形　小野發久工場　619

◉配達募集　新聞配達人數名至急入用但し市内に確實の保證人ある者　京城舊阿町　町田新聞部　611

◉造花　裝飾記章調製御用達　各種原料廉價販賣可仕候　京城南大門通五ノ二九　青沼忠榮商店　576

◉ニコ〳〵筆は運筆自在にて實用に適し耐久力に富む一度御試しあれ　黄金町三　山田文殊堂藥房文具部　555

◉有望職業　郵券八錢送れ見本添へ御答　▲ゴム玩具サック類大販賣　京城太平通　電話四八八　大正洋行　416

◉花柳病諸病合藥りんばい毒にて御困りの諸君は一度試に來店あれ　專門藥房京城黄金町ドラッグ支店　553

一、鎖六拾四筋
右賣拂ス詳細ハ九月二十七日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

一印刷用紙白菱四六判正五十三斤
右購買ス入札希望者ハ九月二十七日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

來ル十月二十四日本府及各道（京畿道ヲ除ク）ニ於テ見習試驗ヲ施行ス志願者ハ九月廿七日朝鮮總督府官報廣告見習採用試驗志願者心得ヲ參觀シ本年十月十五日迄ニ本府又ハ道廳ノ内試驗ヲ受ケムトスル官廳ニ出願スヘシ
大正四年九月
朝鮮總督府
見習試驗委員長法學博士秋山雅之介

安奉沿線　五龍背驛を距る二丁
■閑靜にして避暑に宜しく避寒に宜し
■風光絶佳にして一大樂園地なり
■諸病に特効あり理想的療養場なり
■宿泊、下宿、自炊、各様の設備あり
滿洲　五龍背溫泉

荊妻　シヅ　葬送の際は遠路御會葬被下難有略儀以紙上御禮申上候
大正四年九月廿七日
夫　木村清太郎
義弟　木村中一
親族總代　小山喜八

瓢の旗風 (564)

番衆浪人

賤が嶽前記(六)

龜山も陥ちた、峯の城も、筑前の手のものになつた、今は僅に桑名城を死守する瀧川一益、一家一門は云ふに及ばず、一族郎黨を、悉く城內に入れて、晝夜防戰の、評議を開いた。秀吉は、勝誇つた、部下を率ゐて、之から一益を、唯一と攻めと、云ふ勢ひ、先づ四日市に、本陣を進めて先陣は、何時もながら、中川清兵衛清秀、二陣は蜂屋出雲守頼隆、搦手は長岡與一郎忠興、桑山修理亮、羽柴秀勝、三陣は中村孫平次、平野權平、片桐助作、次が總本陣で羽柴秀吉、旗本には加藤、福島、石川、脇坂、加藤、石田の一騎當千の勇士、總勢三萬八千餘、九鬼大隅守、高山右近は、兵船數百を以て、海上から出來た。城中には、小勢であるから如何に一益勇ありとも、打つて出ん事は容易でない。

『叔父御、何と、召さる、御臆存』と膝を進めたは、一益の甥で、彥次郎光益と云ふ、若武者である。

『何とする、彼の大軍……』と一益は云つて、頻りに胸を痛めて居る。

『返す〴〵も、無念、なれど之れも時節到來』熟々考ふるに、彼の尾州而東郡蟹江の城は、要害殊に能く如何な大軍も、容易に攻め上る事出來申さぬ、されば、一と先桑名を捨て、彼の城に籠城、其の內柴田も、走せ參せん程に、筑前も江州に引き返さう、其の時再び、桑名を奪ふは差し當りの方策かと……」

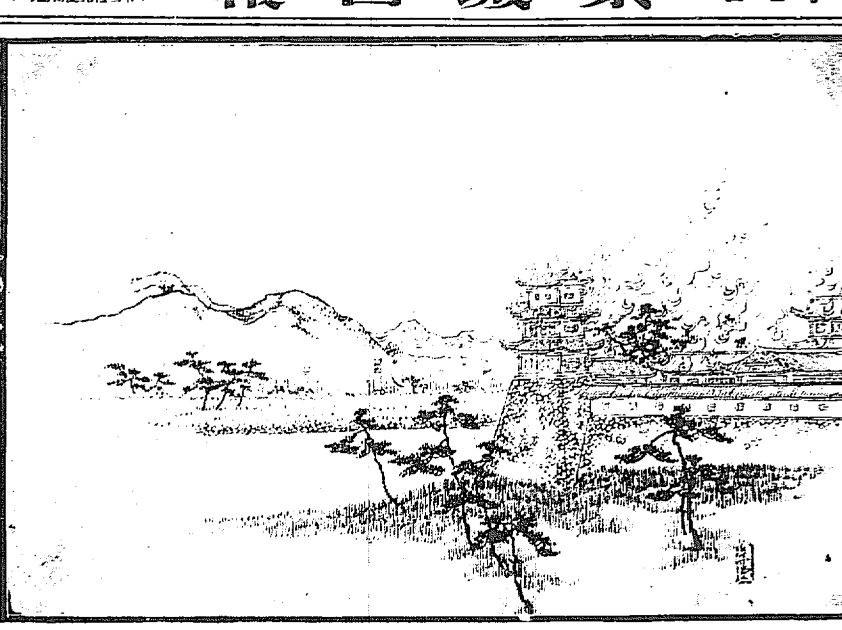
一益言ひ、我れ功に依て、東國の管領職、右大臣殿御薨じてから、御弔ひの爲馳せ歸りしに、途路と云ひ、不運途中の出來事で、延着のしたを、筑前奴に恥しめられ、まつた、三七殿は、我が爲には婿、右大臣殿の御血族を、彼の樣は何事、エ、ウ遺恨は盡きぬワ、其れに亦龜山、峯の兩城は、最ふ猿奴に奪はれた、誰一人居合はずとも、此の一益、唯の一人にて、此處に籠城のして、火をかけて腹かつ切る迄の事、御分等、蟹江に立ちのかうもよし、心のまゝに盡すが可いワ、、、、』

荒々しく襖を開いて、其まゝ奧に這入つた。大將の、此の樣幕に、誰一人、言葉を出すものもない。彥次郎は、腕を組んで、深く吐息して居た。

夜がほの〴〵と、明け初めた頃から秀吉の大軍は、十重廿重と、桑名城を引つ包んで、エイ〳〵と攻め寄せた。

「小林殿、討死……」と大聲で叫ぶ者がある。日置、室山、瀧川等は、持場々々を固めて居たが、味方の豪の者、打たれては、最早落城と決つた許りで、士氣の沮喪する「其れ、蟹江へ……」と何處からともなく、觸て行いた者がある。其處で城中は、大混雜、水門から幾艘かの舟に乘つて、一同は落ち延びた。秀吉は此の模樣、知らぬではないが長追ひは許さなかつた。一益も名高き武將、無闇に攻め詰むること、必死の軍を挑むに違ひない、所謂追ひ落して、秀吉は更に、第二の作戰を考へた。

秀吉が諸將と、軍議の席へ、長濱からの使者とあつて、城代湯淺甚助から、一大注進が來た。何事と、人々が首を傾る時、秀吉は莞爾として『時節到來、開運ぢや。勝家出兵とあるワ!』一眼中既に、北國勢はない



東西南北

▲白黒の双兒● 二十一日横濱に入港した[illegible]から國へ歸つて出産しやうとする途中身重となり臨月が近附いた[illegible]始め寄つて集つて大騷をしたが何分月足らずで生れた故か黒人の方は十[illegible]

●嫁棺桶で輿入● 相州足柄下郡下曽我村の富田德太郎三男金藏(二五)と同村[illegible]いくの屍骸を納めた棺桶を德太郎方へ迎へ金藏の棺桶と並べて親戚故舊[illegible]られた白眞弓飛彈右衛門の末孫と知られて居るが其血統を受けたものが[illegible]熊本縣株ケ崎署の手に捕はれた大賊山崎平吉(二七)は性來の啞者で剛情な[illegible]るのみならず五體隙間もなく美事の藍彩色で入れあるさうだ

▲奥様の代書人開業● 東京淺草區役所前に代書[illegible]業を開く三浦ゑいといふ人の妻女仙[illegible]て月收二三十圓にはなるさうな

▲女優業子の獨立● 藝術座の女優村田榮子と同棲して居た爲め勘當された出[illegible]

朝鮮第一の神秘的優勝地 効驗顯著の
東萊靈泉場 蓬萊館
電話東萊五番
釜山鎮より輕鐵開通

新刊と批評 (批評希望者は現刊一部寄贈のこと)

▲娛樂世界(十月號) 名家新作と銘打つたる丈に從來多く席に上さず勿論坊間流布の講史等に載せられざる種類のもの多く新秋と共に讀んで清新の氣を味ふ(二十錢東京日本橋區蠣殻町鈴木書房)

▲農事新報(九卷九號) 東京府下豊多摩郡淀橋町大字角筈六六七北社(定價金六錢)

▲臺灣教育(百六十號) 臺灣總督府民政部學務部內臺灣教育會(郵税共二十錢)

▲新黎よし付義太夫獨稽古(第一卷) 地と言葉を黑と赤の文字に刷りわけ種々の印にて節を表はしあり此書を見つゝ名人上手の語るを聞けば頓て常に入るの階梯となるべし(定價十錢東京神田表神保町修學堂)

○普通文官受驗講義録の新學期 日本大學內の法制學會より發行する普通文官受驗講義録は博士學士各判檢事等の專門大家が責任を以て講述するものにかゝり此種講義錄中の權威と稱せられ創立以來日淺きにも係はらず卒業生の成績頗る良好にて社會の信用深く異常なる發展を遂げたるが近く第六回新學期を開講するを機とし講義録に大刷新を加へて新入會員を募集する由にて至急申込者に限り各種の大特典を與ふとの事由同法制學會出版部あてに申込次第無料郵呈せらる可し

●急告

●痳病専門藥唯一錠

急性慢性痳病及び膀胱炎しよかち等の淋毒より來る病症は淋菌を治滅すると共に安全に體內より洗滌すべき靈藥により其目的を達す現今幾多の痳病藥中胃腸障害其他の副作用を起さず此兩特效を併有するは痳病專門藥唯一錠なり百藥効なき方は速に此良藥により不安を去られよ四十五錠入八十錢九十錠入一圓五十錢百八十九錠入三圓

◉全國有名藥店にて販賣せり

痳病養生法 無代進呈送料四錢

發賣元 東京市牛込區肴町 中西藥局 振替東京一五〇〇番

有効確實 **マラリヤ特効丸**

本品は胃に障害を與へず且つ何等の副作用なく熱の分離を見連服すれば身體強壯となり再發の憂なし

本舗 龍山元町三丁目 林藥房
代理店 京城本町一丁目 山岸天祐堂

警告 ボロウエルチン

痳病に特効ある「ボロウエルチン」は彼の有名なるシユミーツ氏試験により稍天下一般の認識する所なり而かも本剤は從來獨逸アニリン會社專賣藥にして藥効の卓拔なる點に於て一般の信用を博するは勿論の尤も誇とする所なり抑々痳病の如き疾患は其藥効を試驗する事簡易にして服用後數日にして輕快を自覺するに至るものなるを以て何人と雖効驗顯著なるとは直に判定せらるゝ者也

市上痳病の特効藥と稱するもの枚擧に遑あらずと雖も獨り本劑の其名聲高きは優越なる藥効あるの特殊藥にして其類似品なきに所以するものなり也本劑を主とするときは一種の化學的作用を起し殺菌防腐となり彼の淋菌ゴノツケンの尿と共に排泄し自然的に洗滌する變化を來すものにて痳菌を撲滅せしむるには治痳藥をおきて他に良藥を見ずと稱するも過言に非ざるなり

藥價 治痳藥 一週間分一圓廿錢 二週間分二圓廿錢 治痳球 一週間分八十錢 二週間分一圓五十錢

京城南大門通四丁目(南大門正面) 本舗 達磨堂 救世藥館 電話二五八三番 振替一二六九番

大田溫泉

南鮮唯一の靈泉だと稱せらる大田溫泉は開業茲に一年浴室は申すに及ばす旅館の設備殆ど完全し浴客日々數を增し面目一新致し候交通至て便大田驛を去る僅かに二里道路平坦砥の如くに候(人力車往復金拾錢 自働車片道金八十錢)風景夏に宜しく西に忠南の名岳鷄龍山あり山中名刹東鶴寺甲寺あり溫泉を去る一里餘東錦江支流に臨み消夏好適の地に候何卒大方の諸彥御一遊の榮を仰度候

大田溫泉株式會社

造幣局製

大禮記念章頒布公告

今秋御擧行アラセラル、御即位大禮記念ノ爲メ當造幣局ニ於テ謹製セル記念章牌ハ左記ノ價格ヲ以テ汎ク之ヲ頒ツ事トシ、其頒布等一切尙美堂寶飾店ヲシテ取扱ハシメ候條、希望ノ方ハ同店ヘ御申込ミ相成度候

造幣局內 造幣學術研究會

◎當所宛御照會ノ書信及ビ送金ハ凡テ同店ヘ廻附致シ置キ候也

價格

第壹種記念牌 天鵞絨箱付
銀製 金參圓貳拾錢
銅製 金七拾錢
右送費外裝共四個迄 (内地 金拾七錢 朝鮮樺 金參拾五錢)

第貳種記念章
九百金製 金質同 金拾貳圓五拾錢 ・天鵞絨箱付・
右送費外裝共五個迄 (内地 金拾七錢 朝鮮樺 金參拾五錢)
銀製 金貳拾五錢
銅製 金五錢
右送費外裝共十個迄 (内地 金拾參錢 朝鮮樺 金參拾貳錢)
右送費外裝共二個迄 (内地 金拾七錢 朝鮮樺 金參拾五錢)
各種混合ニテ送費不明ノ時ハ各個數ヲ明瞭ニ御認メノ上返信料封入ニテ御照會相成度候

御申込非常に輻輳致し信書のみにても日々萬餘通に及び整理上困難致し候に付左の事項篤と御承引の上御申込み相成度候

照會 御照會ニ返信料封入ナキモノハ御返信致シ兼ネ候●宛名ハ必ズ尙美堂寶飾店記念係ト御認メ被下度候●當店ヨリ御回答ノ際御通知セシ登簿番號ハ再ビ御照會ノ際必ズ御記入願上候無番號ノ時ハ到底取調ベ致シ難ク候ニ付特ニ御記憶ノ程茲ニ希ヒ置キ候

申込 前金御送附ナキ御申込ハ無効ト御承引被下度候●送費不足ノ時ハ御追送ヲ待テ登簿致スコトニ相成居候●送費ノ過到金ハ現品發送ト同時ニ返却致スベク候●教育會、軍人會、學校其他多數團体ノ御申込ミハ特ニ速カニ希上候●當分ノ內整理上金額壹圓以下ノ御申込ミハ謝絶致ス事ニ相成居候

送金 御送金ハ郵便爲替又ハ銀行爲替ニ希ヒ候●代金引換小包郵便及郵券代用送金ノ義ハ絶對ニ謝絶致シ候●振替貯金ノ御送金ハ申込順ニ多大ノ遲延ト相成候●振替貯金ノ送金ニハ必ズ用紙裏面ヘ品代送費等ヲ認メ外ニ金壹錢御加算相成度候別ニ信書ニテ御通知ヲ要セズ候●送金領收通知御望ミノ向キハ別ニ葉書一葉封入ノ事

發送 發送ハ十一月一日ヨリ造幣局ヨリノ廻附ニ從ヒ申込順ニヨリ書留小包郵便ニテ致シ候但シ發送案內ハ別ニ差出シ申サズ候●發送案內御望ミノ方ハ申込ミノ際葉書代御加算願上候

申込一手引受所 ダイアモンド時計直輸入 貴金屬寶飾美術品製造業
大阪市淀屋橋 尙美堂寶飾店 振替口座大阪第四貳六番

後悔

先に立たず

世の中にはナアニ感冒位と打捨て置て遂に肺炎や窒扶斯に變じてから後悔する人が隨分多いが實に愚なことである若し感冒ねつ等に罹つたら直ぐハカリ印のヘブリン丸を用ひて一時に追拂ふて了ふが肝要である

大阪田口ヘブリン丸改稱 ハカリ印ヘブリン丸

眼科 内科 小兒科 入院隨意
京城黃金町三丁目赤門通(電話二四四三番)
本田醫院 院長 本田建義

寫眞材料藥品製造直輸入販賣
教育、營業、娛樂學術用各式
大阪南區心齋橋筋 上田寫眞機店 京城支店 (電話五四九番 振替三〇九五番) 京城南大門通三丁目
一圓より數百圓まで各種
新古交換古物買入

資本金 貳千百五拾萬圓
積立金 九百廿五萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
京城本町二丁目(振替貯金京城一一番)
頭取 男爵 澁澤榮一
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
內地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

朝鮮郵船 出帆

本社 電話長一九五三番二二三番 京城南大門驛前 京城商客取次店 松原運送店(電話一二七五)
假道及社外船と商客運帶輸送の便あり詳細は支店、出張所、代理店、商客取扱店に御照會願候

船名	出帆日	發地	航路
全羅丸	△九月 日	釜山發	門司より釜山各港寄港雄基間ごと 但△印は元山清津間直航する
京畿丸	△十月五日	釜山發	
黃海丸	十月九日	釜山發	
咸鏡丸	九月廿九日	釜山發	
昌平丸	九月三十日	元山發	元山より各港經由雄基行
鏡城丸	九月廿六日	元山發	
竹清丸	十月七日	元山發	城津、清津、浦潮行復航釜山經由門司
忠清丸	九月廿七日	元山發	
永興丸	毎月廿八回	元山發	北久味、五里浦行 又は長崎延長
嘉島丸	九月 日	釜山發	甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行
江陵丸 寶陽丸	毎 日	釜山(浦項)發	長生浦、方魚津寄港
三浦丸	九月 日	釜山發	長承浦、麗水、巨文島、濟州島各港行
海州丸 巨濟丸 統營丸 慶寶丸	毎 日	釜山發	各港經由麗水行(三日目一回木浦行)
順天丸	三日目毎	木浦發	各港經由麗水行麗水より釜山行に接續
慶興丸	九月 日	木浦發	各港經由濟州島行(月八回)
公州丸	九月廿七日	木浦發	南多島海列島行(月三回)
宗信丸	九月廿九日	仁川發	海州他各港經由鎮南浦行
江原丸	九月 日	仁川發	青島直行、大連、芝罘行
肥水丸 初鷹丸	九月三十日	仁川發	各港經由木浦行
南陽丸 全州丸	毎日午前	仁川發	江華島、桐島、海州行
平安丸	九月廿七日	群山發 若松發	往航大黒山、木浦、門司、若松行 復航門司、木浦、群山行

日本郵船 仁川出帆

○大連太沽牛莊行
高砂丸 十月廿一日 正午出帆
三河丸 十月八日 正午出帆
相模丸 九月廿八日 正午出帆
○青島直行(大連芝罘行)
江原丸 九月 日 出帆
仁川海岸町一丁目 電話十二番 堀回漕部

漢江沿岸 春川行出帆廣告

日本形帆船に日人船夫二名を乘せ荷物の運送を致し春川迄四日五日貸切は三日に著き(御家族には御便利)ますから御引立を偏に願上ます
龍山元町河岸(電話一四四番)
元扱店 副島運送店
京城取次店 牛馬車取扱 酒井運送店 電話二二九一番
春川支店 いろは旅館 電話三七番

新刊書御案內

書名	著者	定價
有聲錄	小中村清矩	一、五〇
印度佛教史	堀謙德	一、〇〇
人性の科學的研究	松本	九五
新理想主義の教育	中桐 荒川	八〇
漢文故熟語集成	枚山 手富	八五
國語百談	日下部重太郎	七〇
新釋中學名詩全集	池永調軒	六五
諸貸金取立法と貸倒れ復活策		一、三〇
東海道五十三次紿卷	大町外	八〇
クオヴヂス	大町桂月	八〇
向日葵	武者小路實篤	一、五〇
加藤廳島	羽皐隱史	一、〇〇
大將乃木	黑頭巾	一、二〇
向上の鐵槌	鈴木大拙	一、二〇
野心論	澤柳政太郎	一、二〇

大阪屋號書店 京城本町壹丁目 電話一〇八六番 振替京城二五七三番